

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん ぜんき 1年(前期)	こころとからだのしくみ	ひっしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうけいたいでうぎ 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	こころとからだのしくみⅠ	たん とう 担 当	あべ みえこ 安部 美恵子		
			かんごし じつむけいけん 看護師としての実務経験		
じゅぎょう がいいよう 【授業の概要】					
かいご ひつよう ひと りかい ふか にんげん せいちょう はつたつ かんてん ひと いっしょう りかい 介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と 発達の観点から人の一生について理解する。ライフサイクル各期(乳 うようじき、がくどう き、ししゅんき、せいねんき、せいじんき、ろうねんき) 幼児期、学童 期、思春期、青年期、成人期、老年期)における身体的・心理的・社会的特徴と発 達を踏まえ、各段階に応じた せいかつしえん かつた まな はつたつ かんてん ろうか りかい ろうか ともな しんたいてき・しんりてき・しゃかいてき へんか しつぱい せいかつ 生活支援のあり方を学ぶ。また、発達の観点から老化を 理解し、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や疾病と生活への えいきよう せいかつしえん きそてき ちしき まな 影響など、生活を支援するための基礎的な知識を学ぶ。					
じゅぎょう とうたつむくひよう 【授業の到達目標】					
かいごぎじゅつ こんきょ じんたい こうぞう きのう および かいご ていきよう あんぜん りゆういてん しんりてきそくめん はいりよ 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について りかい 理解する					
じゅぎょう ないよう 【授業の内容】					
1	にんげん よつきゅう 人間の欲求				
2	じこじげん そんげん 自己実現と尊厳				
3	こころ きそ 心のしくみの基礎				
4	のう 脳のしくみ				
5	がくしゅうきおく しこう 学習・記憶・思考のしくみ				
6	にんち てきおう 認知・適応のしくみ				
7	こころ きそ ふ かえ 心のしくみの基礎 振り返り				
8	からだ ぶい やくわり さいぼういでん のう しんけい 体の部位の役割 細胞・遺伝・脳・神経				
9	からだ ぶい やくわり こっかく 体の部位の役割 骨格				
10	からだ ぶい やくわり かんかくき 体の部位の役割 感覚器				
11	からだ ぶい やくわり こきゅうき しょうかき 体の部位の役割 呼吸器・消化器				
12	からだ ぶい やくわり せいしよくき ないぶんびつ 体の部位の役割 生殖器・内分泌				
13	しんしん ちょうわ こうじょうせい □ 心身の調和・恒常性				
14	からだ ぶい やくわり じゅんかんき けつえき くすり ちしき 体の部位の役割 循環器・血液リンパ 薬の知識				
15	からだのしくみを りかい ふ かえ 理解する 振り返り				
せいせきひょうか ほうほう きじゅん 【成績評価の方法と基準】					
こうぎ と く しゅつせきじゅこうたいど ていしゅつさう ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん60て 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60 んいじょう こうかく 点以上を合格とする。 ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『こころとからだのしくみ』 <さいしん かいごふくしし ようせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 最新・介護福祉士養成講座 第11巻> 中央法規出版					
さんこうしょ 【参考書】					
び こう 【備 考】					

シ ラ バ ス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報		ねん こうき 1年(後期)		こころとからだのしくみ		ひつしゅう 必修		たんい じかん 2単位60時間		じゅぎょうけいたいうぎ 授業形態(講義)	
かもく めい 科目名		こころとからだのしくみ I		たん どう 担 当		あべ みえこ 安部 美恵子					
						かんごし じつむ けいけん 看護師としての実務経験					
【授業の概要】											
かいご ひつよう ひと りかい ふか にんげん せいちよう はつたつ かんてん ひと いっしょう りかい かくき にゆ 介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と 発達 の観点から人の一生について理解する。ライフサイクル各期(乳 うようじき、がくどう き、ししゅんき、せいねんき、せいじんき、ろうねんき 幼児期、学童 期、思春期、青年期、成人期、老年期)における身体的・心理的・社会的特徴と発 達を踏まえ、各段階に応じた せいかつしえん かた まな はつたつ かんてん ろうか りかい ろうか ともな しんたいてき・しんりてき・しゃかいてき へんか しつぺい せいかつ 生活支援のあり方を学ぶ。また、発達の観点から老化 を理解し、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や疾病と生活への えいきよう せいかつしえん きそてき ちしき まな 影響など、生活を支援するための基礎的な知識を学ぶ。											
【授業の到達目標】											
かいごぎじゅつ こんきょ じんたい こうぞう きのう およ かいご ていきよう あんぜん りゅういてん しんりてきそくめん はいりょ 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について 理解する											
【授業の内容】											
16	いどう 移動のしくみ										
17	しんしん きのうていか いどう およ えいきよう 心身の機能低下が移動に及ぼす影響①										
18	しんしん きのうていか いどう およ えいきよう 心身の機能低下が移動に及ぼす影響②										
19	しんしん きのうていか いどう およ えいきよう 心身の機能低下が移動に及ぼす影響③										
20	しんしん きのうていか いどう およ えいきよう 心身の機能低下が移動に及ぼす影響④										
21	へんか き たいおう 変化の気づきと対応										
22	いどう かんれん しく ふ かえ 移動に関連した仕組み 振り返り										
23	みじたく 身支度のしくみ										
24	しんしん きのうていか みじたく およ えいきよう 心身の機能低下が身支度に及ぼす影響①										
25	しんしん きのうていか みじたく およ えいきよう 心身の機能低下が身支度に及ぼす影響②										
26	しんしん きのうていか みじたく およ えいきよう 心身の機能低下が身支度に及ぼす影響③										
27	しんしん きのうていか みじたく およ えいきよう 心身の機能低下が身支度に及ぼす影響④										
28	しんしん きのうていか みじたく およ えいきよう 心身の機能低下が身支度に及ぼす影響⑤										
29	へんか き たいおう 変化の気づきと対応										
30	みじたく かんれん ふ かえ 身支度に関連したしくみ 振り返り										
せいせいせきようか ほうほう きじゅん 【成績評価の方法と基準】											
こうぎ と く しゅつせきじゅこうたいど ていしゅつぶつ ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん60で 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60 んいじょう ごうかく 点以上を合格とする。 ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D											
【テキスト】											
『こころとからだのしくみ』 <さいしん かいごふくし ようせいうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 最新・介護福祉士養成講座 第11巻> 中央法規出版											
さんこうしょ 【参考書】											
び こう 【備 考】											

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 1年(前期)	こころとからだのしくみ	必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうけい 授業形態(講義)
科目名	こころとからだのしくみⅡ	担当	あべ みえこ 安部 美恵子		
かんごし じつむ けいけん 看護師としての実務経験					
【授業の概要】					
かいご ひつよう ひと りかい ふか にんげん せいちよう はったつ かんてん ひと いっしょう りかい かくき にゅ 介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と発達の観点から人の一生について理解する。ライフサイクル各期(乳 うようき、がくどう き ししゅんき せいねんき せいじんき、ろうねんき はつ たち ふ かくだんかい おう せ 幼児期、学童 期、思春期、青年期、成人期、老年期)における身体的・心理的・社会的特徴と発 達を踏まえ、各段階に応じた生 いかつしえん かな まな はったつ かんてん ろうか りかい ろうか ともな しんたいてき・しんりてき・しゃかいてき へんか しつべい せいかつ え 活支援のあり方を学ぶ。また、発達の観点から老化 を理解し、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や疾病と生活への影 いきまう せいかつしえん きそてき ちしき まな 響など、生活を支援するための基礎的な知識を学ぶ。					
【授業の到達目標】					
かいごぎじゅつ こんきと じんたい こうぞう きのう およ かいご ていきよう あんぜん りゆういてん しんりてきそくめん はいりよ 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について りかい 理解する					
【授業の内容】					
1	しょくじ 食事のしくみ				
2	しんしん きのうていか しょくじ およ えいきよう 心身の機能低下が食事に及ぼす影響①				
3	しんしん きのうていか しょくじ およ えいきよう 心身の機能低下が食事に及ぼす影響②				
4	しんしん きのうていか しょくじ およ えいきよう 心身の機能低下が食事に及ぼす影響③				
5	しんしん きのうていか しょくじ およ えいきよう 心身の機能低下が食事に及ぼす影響④				
6	へんか き たいおう 変化の気づきと対応				
7	しょくじ かんれん しくみ ふん かえ 食事に関連した仕組み 振り返り				
8	にゅうよくせいけつほじ 入浴・清潔保持のしくみ				
9	しんしん きのうていか にゅうよくせいけつほじ およ えいきよう 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響①				
10	しんしん きのうていか にゅうよくせいけつほじ およ えいきよう 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響②				
11	しんしん きのうていか にゅうよくせいけつほじ およ えいきよう 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響③				
12	しんしん きのうていか にゅうよくせいけつほじ およ えいきよう 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響④				
13	しんしん きのうていか にゅうよくせいけつほじ およ えいきよう 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響⑤				
14	へんか き たいおう 変化の気づきと対応				
15	にゅうよく・せいけつほじ かんれん しく ふ かえ 入浴・清潔保持に関連した仕組み 振り返り				
【成績評価の方法と基準】					
こうぎ と く しゅつせきしゅこうたいど ていしゅつぶつ ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん60てん 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点 いじょう こうかく 以上を合格とする。					
ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『こころとからだのしくみ』 <さいしん かいごふくし ようせいこうざ だい 11 かん ちゅうおうほうきしゅつばん 最新・介護福祉士養成講座 第11巻> 中央法規出版					
【参考書】					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん こうき 1年(後期)	こころとからだのしくみ	必修	2単位60時間	授業形態(講義)
科目名	こころとからだのしくみⅡ	担当	安部 美恵子		
			看護師としての実務経験		
【授業の概要】					
介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と発達の観点から人の一生について理解する。ライフサイクル各期(乳幼児期、学童 期、思春期、青年期、成人期、老年期)における身体的・心理的・社会的特徴と発達を踏まえ、各段階に応じた生活支援のあり方を学ぶ。また、発達の観点から老化を理解し、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や疾病と生活への影響など、生活を支援するための基礎的な知識を学ぶ。					
【授業の到達目標】					
介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する					
【授業の内容】					
16	排泄のしくみ				
17	心身の機能低下が排泄に及ぼす影響①				
18	心身の機能低下が排泄に及ぼす影響②				
19	変化の気づきと対応				
20	排泄に関連した仕組み 振り返り				
21	睡眠のしくみ				
22	心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響①				
23	心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響②				
24	変化の気づきと対応				
25	睡眠に関連した仕組み 振り返り				
26	死を理解する				
27	死に対するこころの理解				
28	終末期から危篤状態、死後のからだの理解				
29	終末期における医療職との連携				
30	死にゆく人に関連した仕組み 振り返り				
【成績評価の方法と基準】					
講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『こころとからだのしくみ』 <最新・介護福祉士養成講座 第11巻> 中央法規出版					
【参考書】					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	こころとからだのしくみ	必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうけい 授業形態(講義)
科目名	はつたつ ろうか りかい 発達と老化の理解	たん とう 担 当	あべ みえこ 安部 美恵子		
			かんごし じつむ けいけん 看護師としての実務経験		
【授業の概要】					
介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と 発達 の観点から人の一生について理解する。ライフサイクル各期(乳幼児期、学童 期、思春期、青年期、成人期、老年期)における身体的・心理的・社会的特徴と発 達を踏まえ、各段階に応じた生活支援のあり方を学ぶ。また、発達の観点から老化 を理解し、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や疾病と生活への影響など、生活を支援するための基礎的な知識を学ぶ。					
【授業の到達目標】					
人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化および老化が生活に及ぼす影響について理解し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎知識を習得する。					
【授業の内容】					
1	せいちょう・はつたつ かんがえ 成長・発達の考え方				
2	せいちょう・はつたつ げんそく・ほうそく 成長・発達の原則・法則				
3	せいちょう・はつたつ えいきょう よういん 成長・発達に影響する要因				
4	はつたつりろん 発達理論①				
5	はつたつりろん 発達理論②				
6	はつたつだんかい はつたつかだい 発達段階と発達課題①				
7	はつたつだんかい はつたつかだい 発達段階と発達課題②				
8	しんたいてききのう せいちょうはつたつ 身体的機能の成長と発達				
9	しんりてききのう はつたつ 心理的機能の発達				
10	しゃかいてききのう はつたつ 社会的機能の発達				
11	ろうねんき ていぎ 老年期の定義				
12	ろうか 老化とは				
13	ろうねんき はつたつかだい 老年期の発達課題				
14	ろうねんき こんにちてきかだい 老年期をめぐる今日的課題				
15	ぜんきこうぎ ふ かせ 前期講義振り返り				
【成績評価の方法と基準】					
講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『こころとからだのしくみ』 <さいしん かいごふくし りようせいとうぎ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 最新・介護福祉士養成講座 第11巻> 中央法規出版					
【参考書】					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん こうき 2年(後期)	こころとからだのしくみ	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうけい 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	はつたつ ろうか りかい 発達と老化の理解	たん どう 担 当	あべ みえこ 安部 美恵子		
			かんごし じつむ けいけん 看護師としての実務経験		
【授業の概要】					
かいご ひつよう ひと りかい ふか にんげん せいちょう はつたつ かんてん ひと いっしゅう りかい かくき にゅう 介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と 発達の観点から人の一生について理解する。ライフサイクル各期(乳幼 児期、学童 期、思春期、青年期、成人期、老年期)における身体的・心理的・社会的特徴と発 達を踏まえ、各段階に応じた生活支 援のあり方を学ぶ。また、発達の観点から老化 を理解し、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や疾病と生活への影響など、 生活を支援するための基礎的な知識を学ぶ。					
【授業の到達目標】					
にんげん せいちょう はつたつ かてい しんたいてき・しんりてき・しゃかいてきへんか ろうか せいかつ およ えいきょう りかい 人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化および老化が生活に及ぼす影響について理解し、ライフサイ クルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎知識を習得する。					
【授業の内容】					
16	ろうか ともな しんたいてき へんか せいかつ えいきょう 老化に伴う身体的な変化と生活への影響①				
17	ろうか ともな しんたいてき へんか せいかつ えいきょう 老化に伴う身体的な変化と生活への影響②				
18	ろうか ともな しんたいてき へんか せいかつ えいきょう 老化に伴う身体的な変化と生活への影響③				
19	けんこうちやうじゆ むけ けんこう 健康長寿に向けての健康				
20	こうれいしゃ しょうじょう・しっかん とくちょう 高齢者の症状・疾患の特徴				
21	こうれいしゃ おお しっかん しょうじょうせいかつじょう りゅういてん 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点①				
22	こうれいしゃ おお しっかん しょうじょうせいかつじょう りゅういてん 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点②				
23	こうれいしゃ おお しっかん しょうじょうせいかつじょう りゅういてん 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点③				
24	こうれいしゃ おお しっかん しょうじょうせいかつじょう りゅういてん 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点④				
25	こうれいしゃ おお しっかん しょうじょうせいかつじょう りゅういてん 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点⑤				
26	こうれいしゃ おお しっかん しょうじょうせいかつじょう りゅういてん 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点⑥				
27	こうれいしゃ おお しっかん しょうじょうせいかつじょう りゅういてん 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点⑦				
28	こうれいしゃ おお しっかん しょうじょうせいかつじょう りゅういてん 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点⑧				
29	ほけんいりょうきかん れんけい 保険医療機関との連携				
30	こうきこうぎ ふ かえ 後期講義振り返り				
【成績評価の方法と基準】					
こうぎ と く しゅつせきじゅうたいど ていしゅつぶつ ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてA60 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60 点以上を合格とする。 ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『こころとからだのしくみ』 <最新・介護福祉士養成講座 第11巻> ちゅうおうほうきしゅつばん さいしん かいごふくし いうせいこうざ だい かん 中央法規出版					
【参考書】					
【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	にんげん しゃかい 人間と社会	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かちめい 科目名	にんげんりかい 人間の理解Ⅱ にんげんかんけい (人間関係とコミュニケーション)	たん とう 担 当	あべ みえこ 安部 美恵子		
			かんごし じつむけいけん 看護師としての実務経験		
【授業の概要】					
1 たいじんえんじぶつ たいじんえんじぶつ たいじんえんじぶつ たいじんえんじぶつ たいじんえんじぶつ たいじんえんじぶつ 対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する学習とする。					
2 かいご しつ たか ひつよう 介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。					
【授業の到達目標】					
1 にんげんかんけい せいせい ひつよう しんりがくてきしえん ふ 人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解する。					
2 かいごじっせん ひつよう そしき うんえいかんり じんざいいくせい かつよう じんざいかんり りかい 介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材育成や活用といった人材管理を理解する。					
3 そしき うんえいかんり じんざいいくせい ひつよう とう うんえい きほん りかい 組織の運営管理や人材育成に必要なリーダーシップやフォロワーシップ等、チーム運営の基本を理解する。					
【授業の内容】					
1	オリエンテーション じんるい しんか にんげん 人類の進化と人間らしさ				
2	じぶん たしや りかい 自分と他者の理解				
3	にんげんかんけい けいせい ひと そんちよう 人間関係の形成とその人らしさの尊重				
4	はつたつしんりがく にんげんかんけい 発達心理学からみた人間関係				
5	しゃかいしんりがく にんげんかんけい 社会心理学からみた人間関係				
6	かんが ストレスを考える				
7	たいじんかんけい 対人関係におけるコミュニケーション① その概念と基本構造				
8	たいじんかんけい 対人関係におけるコミュニケーション② げんごてき ひげんごてき 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション				
9	にんげんかんけい 人間関係とコミュニケーション				
10	たいじんえんじょ 対人援助における基本的態度				
11	ばいすていっく の7原則から学ぶ援助的人間関係の形成				
12	そしき 組織とコミュニケーション				
13	コミュニケーションと学習について				
14	ぜんきぜんたい とお しょう ぜんきていきしけん 前期全体を通しての小テストと前期定期試験にむけて				
15	かえ ふり返りとまとめ				
【成績評価の方法と基準】					
こうぎ とく しゅつせきじゅこうたいど ていしゅつぶつ 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60 点以上を合格とする。					
ひょうてい ひょうかてん てんいじよう てんみまん てんいじよう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『にんげん りかい』 さいしん かいごふくししよせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『人間の理解』＜最新・介護福祉士養成講座 第1巻＞ 中央法規出版					
【参考書】					
【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん こうき 2年(後期)	にんげん しやかい 人間と社会	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
科目名	人間の理解Ⅱ (人間関係とコミュニケーション)	たん とう 担 当	あべ みえこ 安部 美恵子		
			かんごし じつむけいけん 看護師としての実務経験		
【授業の概要】					
1 対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する学習とする。					
2 介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。					
【授業の到達目標】					
1 人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解する。					
2 介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材育成や活用といった人材管理を理解する。					
3 組織の運営管理や人材育成に必要なリーダーシップやフォロワーシップ等、チーム運営の基本を理解する。					
【授業の内容】					
16	かいご とくせい 介護サービスの特性				
17	かいご げんば もと 介護現場で求められるチームマネジメント				
18	じんざいいくせい チームマネジメントと人材育成				
19	てんかい ケアを展開するためのチームマネジメント				
20	しせつ 施設ケアにおけるチームマネジメントと在宅ケアにおけるチームマネジメントをかんが				
21	リーダーシップとフォロワーシップについて				
22	かいごふくしよく もと じっせんりよく 介護福祉職のキャリアと求められる実践力				
23	かいごふくしよく えが じこ れきし ふ かえ 介護福祉職としてのキャリアデザインを描く① 自己の歴史を振り返る				
24	かいごふくしよく えが ぜんこく かつやく かいごふくし 介護福祉職としてのキャリアデザインを描く② 全国で活躍する介護福祉士たち				
25	かいごふくしよく しえん かいほつ 介護福祉職のキャリア支援・開発【OJTとOFF-JT スーパービジョン】				
26	せんもんしんごたい じっせん けんしゆけい 専門職団体が実践する研修体系について				
27	かいご ささ そしき うんえいほうしん りねん かんが 介護サービスを支える組織について① 運営方針・理念を考えよう				
28	かいご ささ そしき そしき こうぞう じぎょうけいかく 介護サービスを支える組織について② 組織の構造と事業計画				
29	ぜんきぜんたい とお しょう こうき ていき しけん 前期全体を通しての小テストと後期定期試験にむけて				
30	かえ ふり返りとまとめ				
【成績評価の方法と基準】					
こうぎ と く しゅつせきじゅこうたいど ていしゅつぶつ ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん60て 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60 んいじょう こうかく 点以上を合格とする。					
ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『人間の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第1巻> 中央法規出版					
【参考書】					
【備考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 1年(前期)	きょうよう 教養	必修	たんい じかん 1単位30時間	じゅぎょうたい えんしゅう 授業形態(演習)
科目名	かせいがくじっしゅう 家政学実習	たん とう 担 当	ひらお かずこ 平尾 和子		
【授業の概要】 調理や食文化に関する基本的な知識と技術について学ぶ。高齢者や障がい者に応じた、それぞれの状態の中での支援の方法と技術について学ぶ。					
【授業の到達目標】 食・調理に関する様々な知識や技能を習得し、高齢者や障がい者の家庭生活支援技術能力を養う。 また、安全でおいしく食べやすい食のとのえ方を学び、それぞれの状況下での支援の方法と技術を習得する。					
【授業の内容】					
1	じっしゅうのこころえ、もくてき、ふくそう、えいせい、ちょうりほうほうのしゅるい 実習の心得、目的、服装、衛生、調理方法の種類				
2	ちょうりのけいそく、どうぐのあつかいかた、ざいりょうのきりかた 調理の計測、道具の扱い方、材料の切り方				
3	かいごしょくのちょうりとりゅういてん、せつしょく・えんげしょうがい 介護食の調理と留意点、摂食・嚥下障害				
4	かせいがくじっしゅう ちょうりきそ じっしゅうしつ つか かた じっしゅう 家政学実習① 調理基礎 実習室の使い方 実習のきまり				
5	〃				
6	かせいがくじっしゅう ちょうりきそ 家政学実習② 調理基礎				
7	〃				
8	かせいがくじっしゅう ちょうりきそ 家政学実習③ 調理基礎				
9	〃				
10	かせいがくじっしゅう ちょうりきそ 家政学実習④ 調理基礎				
11	〃				
12	かせいがくじっしゅう ちょうりきそ 家政学実習⑤ 調理基礎				
13	かせいがくじっしゅう ちょうりきそ 家政学実習⑥ 調理基礎				
14	〃				
15	じっしゅう 実習まとめ ていきしけん 定期試験について				
【成績評価の方法と基準】 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 『五訂増補食品成分表』 実教出版 『家庭で作れる かみやすい 飲み込みやすい 高齢者のやわらか食132』 株式会社Gakken					
【参考書】					
【備考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	かいご 介護	ひっしゅう 必修	たんい じかん 1単位30時間	じゅぎょうたい こうぎ じっしゅう 授業形態(講義+実習)
かもく めい 科目名	せいかつしえんぎじゅつ 生活支援技術Ⅳ	たん とう 担 当	ひらお かずこ 平尾 和子		
【授業の概要】 生活支援技術では、ICFの視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境、移動、身支度、食事、入浴・清潔保持、排せつ、家事、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具の意義と活用について基礎的な知識・技術を学ぶ。					
【授業の到達目標】 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、安全に援助できる知識や技術について習得する。 被服や被服実技実習、家庭経済・消費生活に関する知識及び技術を身につけることを通して、いろいろな状況で適切に判断できる能力を養う。					
【授業の内容】					
1	ひふくせいかつ いぎ もくてき きのう 被服生活の意義・目的・機能				
2	ひふく かんり そざい 被服の管理・素材				
3	せんい ゆの とくちょう 繊維・布の特徴				
4	ひふく せんたく せいそう す 被服の選択・清掃・ごみ捨て				
5	ひふく ほうせい ほしゅう きそ じっしゅう① 被服の縫製・補修 基礎実習①				
6	ひふく ほうせい ほしゅう きそ じっしゅう② 被服の縫製・補修 基礎実習②				
7	ひふく ほうせい ほしゅう きそ じっしゅう③ 被服の縫製・補修 基礎実習③				
8	ひふく ぼかん かんり 被服の保管・管理				
9	ひふく えいせいほじ 被服と衛生保持				
10	ひふく ほうせい おうようじっしゅう さくひんせいさく 被服の縫製 応用実習 作品制作①				
11	ひふく ほうせい おうようじっしゅう さくひんせいさく 被服の縫製 応用実習 作品制作②				
12	こうれいしや しょう しゃ ひふく 高齢者・障がい者の被服・デザイン				
13	こうぎ してん ICFの視点にもとづくアセスメント				
14	かていせいしかつ かていけいえい 家庭生活と家庭経営				
15	かてい けいざい しょうひせいしかつ 家庭経済と消費生活 まとめ				
【成績評価の方法と基準】 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 『生活支援技術Ⅰ』 <最新・介護福祉士養成講座 第6巻> 中央法規出版 オリジナルプリント					
【参考書】					
【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん こうき 2年(後期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 1単位30時間	じゅぎょうたい こうぎ じっしゅう 授業形態(講義+実習)
かもく めい 科目名	生活支援技術Ⅴ	たん とう 担 当	ひらお かずこ 平尾 和子		
じゅぎょう がいよう 【授業の概要】 せいかつしえんぎじゅつ してん せいかつしえん い いぎ りかい じりつ む きょじゅうかんきょうどう みじたく しょくじ 生活支援技術では、ICFの視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境、移動、身支度、食事、 にゅうよくせいけつほじ はい かじ きゅうそく すいみん じんせい さいしゅうだんかい かいご ふくしやうぐ いぎ かつよう きそてき ちしき 入浴・清潔保持、排せつ、家事、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具の意義と活用について基礎的な知識・ ぎじゅつ まな 技術を学ぶ。					
じゅぎょう とうたつもくひよう 【授業の到達目標】 そんげん ほじ かんてん じょうたい ひと じりつ じりつ そんちやう せんざいのうりよく ひ だ あんぜん えんじょ ちし 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、安全に援助できる知 識 ぎじゅつ せいぎゅく えいよう ちやうり かん ちしき み とう じょうきやう てきせつ はんだん のうりよく 識や技術について習得する。栄養や調理に関する知識を身につけることを通して、いろいろな状況で適切に判断できる能力を やしな 養う。					
じゅぎょう ないよう 【授業の内容】					
1	しょくせいかつかじ いぎ もくてき えいよう してん もと 食生活(家事)の意義目的、栄養とは ICFの視点に基づくアセスメント				
2	えいよう りかい ごだいえいようそ はたら たんすいかぶつ しじつ 栄養の理解 五大栄養素の働き 炭水化物、脂質				
3	えいよう りかい たんぱく じつ むきじつ 栄養の理解 たんぱく質、無機質、ビタミン				
4	こんだて た かた こんだてくせい 献立の立て方 献立作成				
5	しょくひん こうにゅう せんたく 食品の購入と選択				
6	しょくひん ぼぞん しょくひんせい しょくちゅうどく 食品の保存 食品衛生 食中毒				
7	ちやうり きほん しょくひん ちやうりせい 調理の基本 食品の調理性				
8	ちやうりじっしゅう こむぎこ とくせい こうれいしやう やさい した 調理実習:小麦粉の特性 高齢者用:野菜の下ごしらえ				
9	おおいたけ ちやうり だんごじる いしがき 大分県郷土料理 団子汁 石垣もち やせうま				
10	こうれいしや しんたいきのう えいよう こうれいしや しょくじ ちやうり 高齢者の身体機能と栄養 高齢者の食事と調理				
11	ちやうりじっしゅう ひじょうしょく ぼうさいしょく かんが ぶくろ つく はん 調理実習:非常食 防災食について考える ポリ袋で作るご飯				
12	ちやうりじっしゅう かんしょく にく 調理実習:間食 肉まん				
13	しょうがいしや えいよう しょくせいかつ 障害者の栄養と食生活				
14	こうれいしや えいよう しっかん しょくせいかかいぜん 高齢者の栄養 疾患と食生活改善				
15	ていきしけん まとめ 定期試験について				
せいせいきやうか ほうほう きじゆん 【成績評価の方法と基準】 こうぎ とりくみ(しゅつせき・じゅこうたいど・いしゆつぶつなど) ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん てんい 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以 じょう ごうかく 上を合格とする。 ひやうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 せいかつしえんぎじゅつ だい かん 『生活支援技術Ⅰ』＜最新・介護福祉士養成講座 第6巻＞ 中央法規出版 『五訂増補食品成分表』 実教出版 かてい つく の こ こうれいしや しょく かぶしがいいしや 『家庭で作れる かみやすい 飲み込みやすい 高齢者のやわらか食132』 株式会社Gakken					
さんこうしょ 【参考書】					
び こう 【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	こころとからだのしくみ	必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
科目名	にんちしょう りかい 認知症の理解	たん とう 担 当	しばた ゆうき 柴田 雄企		
【授業の概要】 認知症を取り巻く歴史的背景や施策、認知症のある人の現状を理解する。また、認知症の原因となる主な病気や症状の特徴を学び、それらによって引き起こされる機能の変化や日常生活への影響について理解し、個々にあった的確なケアが提供できるための知識、支援体制のあり方やその具体的方法について学ぶ。					
【授業の到達目標】 認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症の人の体験や、生活の中での困難の特徴を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。					
【授業の内容】					
1	にんちしょう 認知症とは				
2	のう しく 脳の仕組み				
3	にんちしょう ひと しんり 認知症の人の心理				
4	ちゅうかくしょうじょうりかい 中核症状の理解				
5	せいかつしょう りかい 生活障がいの理解				
6	りかい しんりしょうじょう BPSDの理解① 心理症状				
7	りかい こうどうしょうじょう BPSDの理解② 行動症状				
8	りかい たいおう BPSDの理解③ 対応				
9	にんちしょう しんだん じゅうしょうど 認知症の診断と重症度①				
10	にんちしょう しんだん じゅうしょうど 認知症の診断と重症度②				
11	がけにんちしょう アルツハイマー型認知症①				
12	がけにんちしょう アルツハイマー型認知症②				
13	けっかんせい 血管性認知症				
14	しょうたいがにんちしょう ぜんとうそくとう がけにんちしょう レビー小体型認知症 前頭側頭型認知症				
15	じゃくねんせい 若年性認知症				
【成績評価の方法と基準】 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 『認知症の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第13巻> 中央法規出版					
【参考書】					
【備考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	2年(後期)	こころとからだのしくみ	必修	2単位60時間	授業形態(講義)
科目名	認知症の理解	担当	柴田 雄企		
【授業の概要】					
認知症を取り巻く歴史的背景や施策、認知症のある人の現状を理解する。また、認知症の原因となる主な病気や症状の特徴を学び、それらによって引き起こされる機能の変化や日常生活への影響について理解し、個々にあった的確なケアが提供できるための知識、支援体制のあり方やその具体的方法について学ぶ。					
【授業の到達目標】					
認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症の人の体験や、生活の中での困難の特徴を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。					
【授業の内容】					
16	認知症の治療薬				
17	認知症の予防				
18	認知症の人を取り巻く状況				
19	認知症ケアの理念と視点				
20	認知症当事者の視点から見えるもの				
21	パーソン・センタード・ケア				
22	アセスメント・ツール センター方式				
23	アセスメント・ツール ひもときシート				
24	認知症の人とのコミュニケーション 認知症の人への様々なアプローチ ユニマチュード				
25	認知症の人への様々なアプローチ バリデーション リアリティ・オリエンテーション				
26	認知症の人の終末期医療と介護 環境づくり				
27	家族への支援①				
28	家族への支援②				
29	介護福祉職への支援				
30	多職種連携と協働				
【成績評価の方法と基準】					
講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『認知症の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第13巻> 中央法規出版					
【参考書】					
【備考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	いりようてき 医療的ケア	必修	3単位80時間	授業形態(講義+実習)
科目名	いりようてき 医療的ケア	担当	渡邊 智恵美		
			看護師としての実務経験		
【授業の概要】					
医療的ケア実践の基礎と喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)について学ぶ					
【授業の到達目標】					
介護福祉士が医行為の一部を業として行うことの背景を理解し、医療的ケアを安全に実施するための基礎知識、留意点を理解する。シミュレーターを使用した各演習において、ケア実践の流れと留意点を習得する。					
【授業の内容】					
1	医療的ケアとは 実施の基礎知識				
2	喀痰吸引制度の概要				
3	医療的ケアと喀痰吸引等の背景				
4	安全な実施・救急蘇生				
5	感染予防 承諾・滅菌・手洗い				
6	バイタルサイン 急変時の対応				
7	心肺蘇生法の実践				
8	呼吸器の働き 人工呼吸器				
9	人工呼吸器と吸引				
10	子どもの吸引				
11	喀痰吸引により生じる危険・事後の確認				
12	高齢者および障がい児者の喀痰吸引概論				
13	高齢者および障がい児者の喀痰吸引実施手順				
14	吸引の技術と留意点				
15	喀痰吸引に伴うケア・口腔ケア				
【成績評価の方法と基準】					
講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査・実技試験の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。					
評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『医療的ケア』＜最新・介護福祉士養成講座 第15巻＞ 中央法規出版					
【参考書】					
【備考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報		ねん こうき 2年(後期)	いりようてき 医療的ケア	ひっしゅう 必修	たんい じかん 3単位80時間	じゅぎよびたい こうぎ じっしゅう 授業形態(講義+実習)
かかもく めい 科目名	医療的ケア		たん どう 担 当	わたなべ ちえみ 渡邊 智恵美		
				かんごし じつむ けいけん 看護師としての実務経験		
【授業の概要】						
いりようてき じっせん きそ かくだんきゅういんきそてきちしき じっし てじゅん けいかんえいようきそてきちしき じっしてじゅん まな 医療的ケア実践の基礎と喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)について学ぶ						
【授業の到達目標】						
かいごふくし い こうい いちぶ ぎょう おこな はいけい りかい いりようてき あんぜん じっし きそちしき りゅういてん りかい 介護福祉士が医行為の一部を業として行うことの背景を理解し、医療的ケアを安全に実施するための基礎知識、留意点を理解する。シミュレーターを使用した各演習において、ケア実践の流れと留意点を習得する。						
【授業の内容】						
16	こうれいしゃ しょう じ しゃ けいかんえいようがいろん 高齢者および障がい児者の経管栄養概論	31	きかん ないぶ きゅういん じっさい 気管カニューレ内部吸引の実際			
17	しょうかきけい 消化器系のしくみとはたらき	32	きかん ないぶ きゅういん じっさい 気管カニューレ内部吸引の実際			
18	しょうか・きゅうしゅう しょうかき しょうじょう 消化・吸収とよくある消化器の症状	33	きかん ないぶ きゅういん じっさい 気管カニューレ内部吸引の実際			
19	けいかんえいよう ちゅうにゅう ないよう かん ちしき 経管栄養とは・注入する内容に関する知識	34	けいび けいかんえいよう じっさい 経鼻経管栄養の実際			
20	けいかんえいようじっしじょう りゅういてん 経管栄養実施上の留意点	35	けいび けいかんえいよう じっさい 経鼻経管栄養の実際			
21	こども けいかんえいよう けいかんえいよう かん かんせん よぼう 子どもの経管栄養・経管栄養に関する感染と予防	36	けいび けいかんえいよう じっさい 経鼻経管栄養の実際			
22	しょう きけん ちゅうにゅうご あんぜんかくにん 生じる危険・注入後の安全確認	37	けいび けいかんえいよう じっさい 経鼻経管栄養の実際			
23	じ たいおう ヒヤリハット アクシデント時の対応	38	いろう えいよう じっさい 胃瘻からの栄養の実際			
24	きぐ きざい しく せいけつ ほじ 器具・器材とその仕組み・清潔の保持	39	いろう えいよう じっさい 胃瘻からの栄養の実際			
25	こうれいしゃ しょう じ しゃ けいかんえいようじっし てじゅん 高齢者および障がい児者の経管栄養実施手順	40	いろう えいよう じっさい 胃瘻からの栄養の実際			
26	こうくう びくう きゅういん じっさい 口腔・鼻腔からの吸引の実際					
27	こうくう びくう きゅういん じっさい 口腔・鼻腔からの吸引の実際					
28	こうくう びくう きゅういん じっさい 口腔・鼻腔からの吸引の実際					
29	こうくう びくう きゅういん じっさい 口腔・鼻腔からの吸引の実際					
30	きかん ないぶ きゅういん じっさい 気管カニューレ内部吸引の実際					
【成績評価の方法と基準】						
こうぎ とりくみ(ゆつせき・じゅこうたいど・ていしゅつぶつなど) ていきこうさ じつぎしけん せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょう 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査・実技試験の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価 かてん てんいじょう こうかく 点60点以上を合格とする。 ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D						
【テキスト】						
いりようてき さいしん かいごふくし しょうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつぽん 『医療的ケア』＜最新・介護福祉士養成講座 第15巻＞ 中央法規出版						
【参考書】						
【備 考】						

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん こうき 2年(後期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	せいかつしえんぎじゅつ 生活支援技術Ⅲ	たん とう 担 当	わたなべ ちえみ 渡邊 智恵美		
			かんごし じつむけいけん 看護師としての実務経験		
【授業の概要】					
せいかつしえんぎじゅつ 生活支援技術では、ICFの視点(してん)を生活支援に活かすこと(いぎ)の意義(りかい)を理解し、自立に向けた居住環境(じりつ む きょじゅうかんきょういどう)、移動(みじたく)、身支度(しよくじ)、食事(しょくじ)に(ゆうよく)せいかつしえんぎじゅつ 入浴・清潔保持(はい)、排せつ(かし)、家事(かじ)、休息(きゅうそく)、睡眠(すいみん)、人生(じんせい)の最終段階(さいしゅうだんがい)における介護(かいご)、福祉用具(ふくしようぐ)の意義(いぎ)と活用(かつよう)について基礎的(きそてき)な知識(ちしき)・技術(ぎじゅつ)を学ぶ。					
【授業の到達目標】					
①しょうがい しつぺい ひと いがくてき しんりてき そくめん りかい 障害や疾病のある人について、医学的・心理的側面から理解する					
②せいかつじょう こま りかい 生活上の困りごとを理解する					
③しょうがい しつぺい ひと せいかつしえん かいごふくし は やくわり りかい 障害や疾病のある人への生活支援において介護福祉士が果たすべき役割を理解する					
【授業の内容】					
16	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
17	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
18	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
19	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
20	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
21	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
22	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
23	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
24	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
25	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
26	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
27	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
28	しせつけんがく 施設見学①				
29	しせつけんがく 施設見学②				
30	こうき そうかつ 後期総括				
【成績評価の方法と基準】					
せいせきようか ほうほう きじゆん 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査・実技試験の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
せいかつしえんぎじゅつ さいしん かいごふくししゅうせい こうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『生活支援技術Ⅲ』 <最新・介護福祉士養成講座 第8巻> 中央法規出版					
【参考書】					
しょうがい りかい さいしん かいごふくししゅうせい こうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『障害の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第14巻> 中央法規出版					
【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうせいたい 授業形態(講義)
かめく めい 科目名	せいかつしえんぎじゅつ 生活支援技術Ⅲ	たん とう 担 当	わたなべ ちえみ 渡邊 智恵美		
			かんごし じつむけいけん 看護師としての実務経験		
じゅぎょう がいいよう 【授業の概要】					
せいかつしえんぎじゅつ 生活支援技術では、ICFの視点 ^{してん} を生活支援 ^{せいかつしえん} に活かすことの意義 ^{いぎ} を理解 ^{りかい} し、自立 ^{じりつ} に向けた居住環境 ^{きょじゅうかんきょう} 、移動 ^む 、身支度 ^{みじたく} 、食事 ^{しょくじ} 、入浴 ^{にゅうよく} ・清潔保持 ^{せいけつほし} 、排せつ ^{はい} 、家事 ^{かじ} 、休息 ^{きゅうそく} ・睡眠 ^{すいみん} 、人生 ^{じんせい} の最終段階 ^{さいしゅうだんかい} における介護 ^{かいご} 、福祉用具 ^{ふくしようぐ} の意義 ^{いぎ} と活用 ^{かつよう} について基礎的な知識 ^{きそてき} ・技術 ^{ぎじゅつ} を学ぶ。					
じゅぎょう とうたつめくひよう 【授業の到達目標】					
①障害 ^{しょうがい} や疾病 ^{しつぺい} のある人 ^{ひと} について、医学的 ^{いがくてき} ・心理的 ^{しんりてき} 側面 ^{そくめん} から理解 ^{りかい} する					
②生活上 ^{せいかつじょう} の困りごと ^{こま} を理解 ^{りかい} する					
③障害 ^{しょうがい} や疾病 ^{しつぺい} のある人 ^{ひと} への生活支援 ^{せいかつしえん} において介護福祉士 ^{かいごふくし} が果たすべき役割 ^は を理解 ^{りかい} する					
じゅぎょう ないよう 【授業の内容】					
1	ガイダンス				
2	りようしゃ じょうたい じょうきよう おう せいかつしえんぎじゅつ 利用者の状態・状況に応じた生活支援技術				
3	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
4	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
5	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
6	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
7	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
8	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
9	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
10	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
11	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
12	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
13	しょうがい おう せいかつしえんぎじゅつ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
14	じつぎしけん 実技試験				
15	ぜんきそうかつ 前期総括				
せいせきようか ほうほう きじゆん 【成績評価の方法と基準】					
こうぎ とりくみ(しゅつせき・じゅこうたいど・ていしゅつぶつなど) ていきこうさ じつぎしけん せいせき ひようか てんまんてん ひようか ひよ 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査・実技試験の成績80%として評価する。100点満点で評価し評 価点60点以上を合格とする。					
ひようてい ひようかてん てんいじよう てんいじよう てんみまん てんいじよう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
せいかつしえんぎじゅつ さいしん かいごふくししやうせい こうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『生活支援技術Ⅲ』＜最新・介護福祉士養成講座 第8巻＞ 中央法規出版					
さんこうしょ 【参考書】					
しょうがい りかい さいしん かいごふくししやうせい ほうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『障害の理解』＜最新・介護福祉士養成講座 第14巻＞ 中央法規出版					
び こう 【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん こうき 2年(後期)	こころとからだのしくみ	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうせいたい 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	しょうがい りかい 障害の理解	たん とう 担 当	わたなべ ちえみ 渡邊 智恵美		
			かんごし じつむけいけん 看護師としての実務経験		
【授業の概要】					
しょうがい りかい しょうがいきそてきりかい しょうがい がいねん きほんてき りねん しょうがい いがくてき しんりてき そくめん きそてき 障害の理解では、障害基礎的理解のとして、障害の概念や基本的理念、さらに障害の医学的・心理的側面の基礎的 ちしき まな しょうがい ひと とくせい おう しえん たしよくしゅれんけい きょうどう かぞく しえん まな な知識を学び、障害のある人のライフステージや特性に応じた支援、他職種連携と協働、家族への支援について学 ぶ。					
【授業の到達目標】					
しょうがい きそてきりかい しょうがいがいねん しょう しゃふく きほんりねん まな いがくてきそくめん かくしょうがい しょうじょう がつぺいし 障害の基礎的理解として、障害概念や障がい者福祉基本理念のを学ぶ。医学的側面からは、各障害の症状や合併症 などが日常生活に及ぼす影響を理解し、生活支援を考える。また、障害が及ぼす心理的影響や障害の受容なども学 ぶ。さらには、しょうがい ひと とくせい ふ おこな じりつしえん ちいき 障害のある人の特性を踏まえたアセスメントを行い、自立支援に むけた、地域におけるサポート体制や たしよくしゅきょうどう かた かぞく しえん がくしゅう 他職種協働のあり方、家族への支援についても学習する。					
【授業の内容】					
16	しょうがいべつ きそてき りかい とくせい おう しえん 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ				
17	しょうがいべつ きそてき りかい とくせい おう しえん 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ				
18	しょうがいべつ きそてき りかい とくせい おう しえん 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ				
19	しょうがいべつ きそてき りかい とくせい おう しえん 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ				
20	しょうがいべつ きそてき りかい とくせい おう しえん 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ				
21	しょうがいべつ きそてき りかい とくせい おう しえん 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ				
22	しょうがいべつ きそてき りかい とくせい おう しえん 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ				
23	しょうがいべつ きそてき りかい とくせい おう しえん 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ				
24	しょうがいべつ きそてき りかい とくせい おう しえん 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ				
25	しょうがいべつ きそてき りかい とくせい おう しえん 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ				
26	しょうがいべつ きそてき りかい とくせい おう しえん 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ				
27	しょうがいべつ きそてき りかい とくせい おう しえん 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ				
28	しょうがいべつ きそてき りかい とくせい おう しえん 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ				
29	れんけい きょうどう 連携と協働				
30	こうきそうかつ 後期総括				
せいせきひょうか ほうほう きじゆん 【成績評価の方法と基準】					
こうぎ とりくみ(しゅつせき・じゅこうたいど・ていしゅつぶつなど) ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん てんい 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以 じょう こうかく 上を合格とする。 ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
しょうがい りかい さいしん かいごふくししょうせい こうぎ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『障害の理解』＜最新・介護福祉士養成講座 第14巻＞ 中央法規出版					
さんこうしょ 【参考書】					
せいかつしえんぎじゅつ さいしん かいごふくしし ようせいこうぎ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『生活支援技術Ⅲ』＜最新・介護福祉士養成講座 第8巻＞ 中央法規出版					
び こう 【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	こころとからだのしくみ	必修	2単位60時間	授業形態(講義)
科目名	しょうがい りかい 障害の理解	たん とう 担 当	わたなべ ちえみ 渡邊 智恵美		
			かんごし じつむけいけん 看護師としての実務経験		
【授業の概要】 障害の理解では、障害基礎的理解のとして、障害の概念や基本的理念、さらに障害の医学的・心理的側面の基礎的な知識を学び、障害のある人のライフステージや特性に応じた支援、他職種連携と協働、家族への支援について学ぶ。					
【授業の到達目標】 障害の基礎的理解として、障害概念や障がい者福祉基本理念のを学ぶ。医学的側面からは、各障害の症状や合併症などが日常生活に及ぼす影響を理解し、生活支援を考える。また、障害が及ぼす心理的影響や障害の受容なども学ぶ。さらには、障害のある人の特性を踏まえたアセスメントを行い、自立支援にむけた、地域におけるサポート体制や他職種協働のあり方、家族への支援についても学習する。					
【授業の内容】					
1	ガイダンス				
2	障害の概念と基本理念				
3	障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ				
4	障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ				
5	障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ				
6	障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ				
7	障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ				
8	障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ				
9	障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ				
10	障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ				
11	障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ				
12	障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ				
13	家族への支援				
14	家族への支援				
15	前期総括				
【成績評価の方法と基準】 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 『障害の理解』＜最新・介護福祉士養成講座 第14巻＞ 中央法規出版					
【参考書】 『生活支援技術Ⅲ』＜最新・介護福祉士養成講座 第8巻＞ 中央法規出版					
【備考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん ぜんき 1年(前期)	にんげん しやかい 人間と社会	ひつしゅう 必修	たんい じかん 1単位30時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	にんげん りかい 人間の理解Ⅰ (人間の尊厳と自立)	たん とう 担 当	わたなべ ちえみ 渡邊 智恵美		
かんごし じつむけいけん 看護師としての実務経験					
【授業の概要】					
かいごふくし じっせん ひつよう にんげん たい きほんてきりかい やしな ふくしりねん れきしてき へんせん まな とお にんげん 介護福祉を実践するために必要な人間に対する基本的理解を養う。福祉理念の歴史的変遷を学ぶことを通し、人間の そんげん じんけんそんちようおよ けんりようご かんが かつ やしな ほんにんしゅたい かんてん じりつ かんが かつ じりつ せいかつ りかい とお せいかつ 尊厳・人権尊重及び権利擁護の考え方を養う。本人主体の観点から自立の考え方、自立生活の理解を通しその生活 を支える必要性を理解する。					
じゅぎょう とうたつめくひよう 【授業の到達目標】					
ここでは、にんげん ためんてきりかい そんげん ほじ じりつ じりつ せいかつ さき ひつようせい りかい 人間の多面的理解と尊厳の保持、自立・自律した生活を支える必要性について理解することをねらいとす る。「人間の尊厳」を理解するためには、「尊厳」の内容を具体化することが必要であり、その過程を通して、介護を受け る人の尊厳を守ることの意義や配慮すべきことを同じ人として理解する。また、自分では気に留めないことでも、年代 の違いによる尊厳の捉え方に多様性があることを理解できるよう、個人の生活変遷や社会変化における人間の価値 観にも触れながら講義を行う。					
じゅぎょう ないよう 【授業の内容】					
1	ガイダンス				
2	にんげん そんげん じんけん ふくしりねん 人間の 尊厳と人権・福祉理念①				
3	にんげん そんげん じんけん ふくしりねん 人間の 尊厳と人権・福祉理念②				
4	にんげん そんげん じんけん ふくしりねん 人間の 尊厳と人権・福祉理念③				
5	にんげん そんげん じんけん ふくしりねん 人間の 尊厳と人権・福祉理念④				
6	そんげん じりつ れきしてき へんせん 尊厳と自立をめぐる歴史的変遷①				
7	そんげん じりつ れきしてき へんせん 尊厳と自立をめぐる歴史的変遷②				
8	そんげん じりつ れきしてき へんせん 尊厳と自立をめぐる歴史的変遷③				
9	そんげん じりつ れきしてき へんせん 尊厳と自立をめぐる歴史的変遷④				
10	そんげん じりつ れきしてき へんせん 尊厳と自立をめぐる歴史的変遷⑤				
11	そんげん じりつ れきしてき へんせん 尊厳と自立をめぐる歴史的変遷⑥				
12	じりつ かつ 自立のあり方①				
13	じりつ かつ 自立のあり方②				
14	じりつ かつ 自立のあり方③				
15	そうかつ 総括				
せいせいようか ほうほう きじゅん 【成績評価の方法と基準】					
こうぎ とりくみ(しゅつせき・じゅこうたいど・ていしゅつぶつなど) ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん て 講義への取組(出席・受講態度・提出物等) 20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点 以上を合格とする。					
ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
にんげん りかい さいしん かいごふくししやうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつぽん 『人間の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第1巻> 中央法規出版					
さんこうしょ 【参考書】					
しょうかい 講義で紹介					
び こう 【備考】					

シ ラ バ ス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 1年(前期)	かいご 介護	必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたいこうぎ 授業形態(講義)
かまく めい 科目名	コミュニケーション技術	たん とう 担当	わたなべ ちえみ 渡邊 智恵美		
			かんごし じつむけいけん 看護師としての実務経験		
【授業の概要】					
コミュニケーション技術では、人間関係とコミュニケーションで学ぶコミュニケーションの基礎的な知識を基盤に、本人及び家族とのよりよい関係性の構築や障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識・技術を習得する。介護におけるチームのコミュニケーションについて、情報共有の意義、活用、管理などに関する基本知識・技術を習得する。					
【授業の到達目標】					
介護の対象者との支援関係の構築や情報の共有化等、介護実践に必要なコミュニケーションを習得する。また、利用者の特性に応じた適切なコミュニケーションの実践が可能となることをねらいとする。さらに、文章(記録、報告書等)を通じて介護実践に必要な個人情報の扱い方や情報の共有、管理の仕方を理解し、実践可能となるようにする。					
【授業の内容】					
1	ガイダンス				
2	コミュニケーションの基本				
3	コミュニケーションの対象				
4	援助関係とコミュニケーション①				
5	援助関係とコミュニケーション②				
6	コミュニケーションの基本技術①				
7	コミュニケーションの基本技術②				
8	コミュニケーションの基本技術③				
9	コミュニケーションの基本技術④				
10	コミュニケーションの基本技術⑤				
11	チームのコミュニケーション①				
12	チームのコミュニケーション②				
13	チームのコミュニケーション③				
14	チームのコミュニケーション④				
15	ぜんきそうかつ 前期総括				
【成績評価の方法と基準】					
講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評価は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『コミュニケーション技術』 <最新・介護福祉士養成講座 第5巻> 中央法規出版					
【参考書】					
講義で紹介					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報		ねん こうき 1年(後期)	かいご 介護	ひっしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたい こうぎ 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	ぎじゅつ コミュニケーション技術		たん とう 担当	わたなべ ちえみ 渡邊 智恵美		
かんごし じつむけいけん 看護師としての実務経験						
【授業の概要】						
コミュニケーション技術では、人間関係とコミュニケーションで学ぶコミュニケーションの基礎的な知識を基盤に、本人及び家族とのよりよい関係性の構築や障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識・技術を習得する。介護におけるチームのコミュニケーションについて、情報共有の意義、活用、管理などに関する基本知識・技術を習得する。						
【授業の到達目標】						
介護の対象者との支援関係の構築や情報の共有化等、介護実践に必要なコミュニケーションを習得する。また、利用者の特性に応じた適切なコミュニケーションの実践が可能となることをねらいとする。さらに、文章(記録、報告書等)を通じて介護実践に必要な個人情報の扱い方や情報の共有、管理の仕方を理解し、実践可能となるようにする。						
【授業の内容】						
16	とくせい おう 特性に応じたコミュニケーション①					
17	とくせい おう 特性に応じたコミュニケーション②					
18	とくせい おう 特性に応じたコミュニケーション③					
19	とくせい おう 特性に応じたコミュニケーション④					
20	とくせい おう 特性に応じたコミュニケーション⑤					
21	とくせい おう 特性に応じたコミュニケーション⑥					
22	とくせい おう 特性に応じたコミュニケーション⑦					
23	とくせい おう 特性に応じたコミュニケーション⑧					
24	とくせい おう 特性に応じたコミュニケーション⑨					
25	とくせい おう 特性に応じたコミュニケーション⑩					
26	かぞく 家族とのコミュニケーション①					
27	かぞく 家族とのコミュニケーション②					
28	じれいけんとう かん ぎじゅつ 事例検討に関する技術①					
29	じれいけんとう かん ぎじゅつ 事例検討に関する技術②					
30	こうき そうかつ 後期総括					
【成績評価の方法と基準】						
講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評価は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D						
【テキスト】						
『コミュニケーション技術』 <最新・介護福祉士養成講座 第5巻> 中央法規出版						
【参考書】						
講義で紹介						
【備考】						

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報		ねん ぜんき 1年(前期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんに じかん 2単位60時間	じゅぎょうたいこうぎ 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	かいご きほん 介護の基本Ⅱ	たん とう 担 当		しみず あきひこ 清水 明彦		
				かいご ふくし 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】						
かいご きほん りねん ちいき きぼん せいかつ けいぞくせい しえん 介護の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態 いど やしな かもく 度を養うための科目。						
【授業の到達目標】						
1. かいご う せいかつ ひと 介護を受けて生活する人およびその生活について理解する。						
2. かいご ひつよう ひと せいかつ ささ かんてん 介護を必要とする人の生活を支える観点から、フォーマルおよびインフォーマルな支援、他職種連携・地域連携について理解する。						
3. かいご あんぜん かくほ 介護における安全の確保、リスクを回避するための方法などについて理解する。						
4. かいご じゅうじや しんしん けんこう かいご じっせん けんこうあんり ちゅうどうかんきょう かんり 介護従事者が心身ともに健康に、介護をを実践するための健康管理や労働環境の管理について理解する。						
【授業の内容】						
1	だい しょう わたし 第1章 私たちの生活の理解	せいかつ りかい (生活とは何か？	かいご ひつよう 介護を必要とする人	ひと たちの暮らし	りかい を理解する)	
2	〃	ひと (その人らしさとは？	せいかつ 生活の	かんが しづらさについて考える)		
3	だい しょう かいごふくし ひつよう 第2章 介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ(地域共生社会、地域包括ケアシステム)	ひと せいかつ ささ (生活を支える社会的サービス①: 居宅サービス)	ちいききょうせしやかい ちいきほうかつ 地域共生社会、地域包括ケアシステム)			
4	〃	せいかつ ささ (生活を支える社会的サービス②: 施設サービス)	しゃかいてき しせつ 施設サービス)			
5	〃	せいかつ ささ (生活を支える社会的サービス③: 地域密着型サービス)	しゃかいてき ちいきみつちやぐがた 地域密着型サービス)			
6	〃	せいかつ ささ (生活を支える社会的サービス④: 障害福祉サービス・介護給付)	しゃかいてき しょうがいふくし かいごきゅうふ 障害福祉サービス・介護給付)			
7	〃	せいかつ ささ (生活を支える社会的サービス⑤: 障害福祉サービス・訓練等給付)	しゃかいてき しょうがいふくし くんれんとうきゅうふ 障害福祉サービス・訓練等給付)			
8	〃	せいかつ ささ (生活を支える社会的サービス⑥: 地域包括支援センター、社協、NPO法人)	しゃかいてき ちいきほうかつしえん しゃきょう ほうじん 地域包括支援センター、社協、NPO法人)			
9	〃	(	〃	ちいきふくし にな て ②: 地域福祉の担い手)		
10	〃	(	〃	ちいきふくし にな て ②: 地域福祉の担い手)		
11	第3章 介護における安全の確保とリスクマネジメント(介護における安全の確保、セーフティーマネジメント)					
12	〃	(リスクマネジメントとは何か？ 身体拘束について)				
13	〃	かんせんしやういさく かんせん かん ちしき (感染症対策 感染に関する知識)				
14	ぜんき ふ かえ 前期振り返り①					
15	ぜんき ふ かえ 前期振り返り②					
せいせきひょうか ほうほう きじゆん 【成績評価の方法と基準】						
こうぎ トリクミ(シュッセキ・ジュコウタイド・テイシュツツソナド) テイキコウサ セイセキ ヒョウカ テンマンテン ヒョウカ ヒョウカテン テンイ 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以 ジョウ ゴウカク 上を合格とする。						
ヒョウテイ ヒョウカテン テンイジョウ テンイジョウ テンミマン テンイジョウ テンミマン テンミマン 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D						
【テキスト】						
かいご きほん さいしん かいごふくししょうせいこうぎ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『介護の基本Ⅱ』 <最新・介護福祉士養成講座 第4巻> 中央法規出版						
さんこうしょ 【参考書】						
しゃかい りかい さいしん かいごふくししょうせいこうぎ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『社会の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第2巻> 中央法規出版						
【備 考】						

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん こうき 1年(後期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたいこうぎ 授業形態(講義)
かまく めい 科目名	かいご きほん 介護の基本Ⅱ	たん とう 担 当	しみず あきひこ 清水 明彦		
			かいご ふくし しつむ けいけん 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】					
かいご きほん りねん ちいき きほん せいかつ けいぞくせい しえん 介護の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養うための科目。					
【授業の到達目標】					
1. 介護を受けて生活する人およびその生活について理解する。 2. 介護を必要とする人の生活を支える観点から、フォーマルおよびインフォーマルな支援、他職種連携・地域連携について理解する。 3. 介護における安全の確保、リスクを回避するための方法などについて理解する。 4. 介護従事者が心身ともに健康に、介護を実践するための健康管理や労働環境の管理について理解する。					
【授業の内容】					
16	せいかつ ささ 生活を支えるフォーマルサービス	かいご ほけん ほう ぜんき ふくしゅう ・介護保険法(前期復習)			
17	せいかつ ささ 生活を支えるフォーマルサービス	しょうがいしろうごうしえん ほう ぜんき ふくしゅう ・障害者総合支援法(前期復習)			
18	せいかつ ささ 生活を支えるインフォーマルサービス	しゅるい ていきょうしや ・インフォーマルサービスの種類と提供者			
19	たい しょう きょうどう 第4章 協働する他職種の機能と役割(他職種連携・協働とは)				
20	〃	ほけん いりよう ふくしよく やくわり (保険・医療・福祉職の役割と機能①)			
21	〃	ほけん いりよう ふくし しょう やくわり きのう じぎょうしょ はいち せんもんしよく (保険・医療・福祉職の役割と機能② 事業所に配置される専門職)			
22	〃	た しよくしれんけいきょうどう ひつようせい (他職種連携・協働の必要性)			
23	〃	た しよくしれんけいきょうどう もと きほんてき のうりよく (他職種連携・協働に求められる基本的な能力)			
24	〃	た しよくしれんけいきょうどう じっさい (他職種連携・協働の実践)			
25	だい しょう かいごじゅうじや 第5章 介護従事者の安全(健康管理の意義と目的)				
26	〃	はたらひと けんこう せいかつ まも ほうせいど (働く人の健康や生活を守る法制度)			
27	〃	けんこうかんり からだ けんこうかんり (こころの健康管理、身体 健康管理)			
28	〃	ろうどうかんきょう せいび (労働環境の整備)			
29	こうきふ かい 後期振り返り①				
30	こうきふ かい 後期振り返り②				
【成績評価の方法と基準】					
コウギ トリクミ(シュツセキ・ジョウコウタイド・テイシュツブツナド) テイキコウサ セイセキ ヒョウカ デンマンデン ヒョウカ ヒョウカデン デンイ 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 ジョウ コウカク ヒョウテイ ヒョウカデン テンイジョウ テンイジョウ テンミマン テンイジョウ テンミマン デンミマン 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
かいご きほん さいしん かいごふくししやうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『介護の基本Ⅱ』 <最新・介護福祉士養成講座 第4巻> 中央法規出版					
さんこうしよ 【参考書】					
しゃかい りかい さいしん かいごふくししやうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『社会の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第2巻> 中央法規出版					
び こう 【備考】					

シラバス

れいわ ねんど
令和8年度ちせんふくしせいかせんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	にんげん しゃかい 人間と社会	ひつしゅう 必修	たんい じかん 1単位30時間	じゅぎょういたい こうぎ 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	しゃかい りかい 社会の理解Ⅱ	たん どう 担 当	しみず あきひこ 清水 明彦		
			かいご ふくしし じつむ けいけん 介護福祉士としての実務経験		
じゅぎょう がいよう 【授業の概要】					
かいご かん きんねん しゃかいほしやうせいど おお へんかく かいご ほけん せいど かいご じっせん ひつよう かんてん きそてき ちしき しゅ 介護に関する近年の社会保障制度の大きな変革である介護保険制度について、介護実践に必要な観点から基礎的知識を習 得する。					
じゅぎょう どうたつもくひよう 【授業の到達目標】					
1. こうれいしゃほけん ふくし どうこう りかい 高齢者保健福祉の動向について理解する。 2. こうれいしゃほけん ふくし かん ほうたいけい りかい 高齢者保健福祉に関する法体系について理解する。 3. かいご ほけん せいど しく りかい 介護保険制度の仕組みについて理解する。					
じゅぎょう ないよう 【授業の内容】					
1	こうれいしゃほけん ふくし どうこう 高齢者保健福祉の動向				
2	じんこう こうれいしゃ こうれいしゃほけん ふくし 人口の高齢化と高齢者保健福祉				
3	こうれいしゃほけんふくし かんれん ほうたいけい 高齢者保健福祉に関連する法体系				
4	かいご ほけん せいど そうせつ はいけい もくてき かいご ほけん ほう もくてき りねん 介護保険制度創設の背景と目的・介護保険法の目的と理念				
5	かいご ほけん せいど しく しく がいよう 介護保険制度の仕組み① ・仕組みの概要				
6	かいご ほけん せいど しく ほけん しく りかい 介護保険制度の仕組み② ・保険の仕組みを理解する				
7	かいご ほけん せいど しく ひほけんしゃ ほけんしゃ かいご ほけんりよう かいご ほけん せいど ざいげん 介護保険制度の仕組み③ ・被保険者と保険者、介護保険料、介護保険制度の財源				
8	かいご ほけん せいど しく かいご ほけん せいど りようしゃ ふたん かいごほけん りよう てつづ ようかいごにんてい なが さくせい 介護保険制度の仕組み④ ・介護保険制度における利用者負担、介護保険サービスの利用手続き(要介護認定の流れ、ケアプラン作成)				
9	かいご ほけん せいど しく かいごほけん しゅるい ないよう きょたく しせつ 介護保険制度の仕組み⑤ ・介護保険サービスの種類と内容(居宅サービス、施設サービス)				
10	かいご ほけん せいど しく かいごほけん しゅるい ないよう ちいきみつちやくがた ちいきしえんじぎょう 介護保険制度の仕組み⑥ ・介護保険サービスの種類と内容(地域密着型サービス、地域支援事業)				
11	かいご ほけん せいど しく ちいき ほうかつ 介護保険制度の仕組み⑦ ・地域包括ケアシステム				
12	かいご ほけん せいど しく かいごほけん せいど そしき だんたい やくわり 介護保険制度の仕組み⑧ ・介護保険制度における組織、団体の役割				
13	かいご ほけん せいど どうこう 介護保険制度の動向①				
14	かいご ほけん せいど どうこう 介護保険制度の動向②				
15	ていき しけん たいさく かいせつ まとめ ・定期試験対策と解説				
せいせきようか ほうほう きじゆん 【成績評価の方法と基準】					
コウギ トリクミ(シュツセキ・ジュコウタイド・テイシュツツツナド) テイキコウサ セイセキ ヒョウカ テンマンテン ヒョウカ ヒョウカテン テンイ 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以 上を合格とする。 ヒョウテイ ヒョウカテン テンイジョウ テンイジョウ テンミマン テンイジョウ テンミマン テンミマン 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
しゃかい りかい さいしん かいごふくししやうせいうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『社会の理解』＜最新・介護福祉士養成講座 第2巻＞ 中央法規出版					
さんこうしょ 【参考書】					
ふくし しやうほう ちゅうおうほうきしゅつばん 『福祉小六法』 中央法規出版					
【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	にんげん しゃかい 人間と社会	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょういたい 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	にんげん りかい 人間の理解Ⅳ (にんげんかんけい 人間関係とコミュニケーション・点字)	たん どう 担 当	たなか ゆうこ 田中 祐子		
【授業の概要】 人間関係とコミュニケーションの基礎では、自己理解、他者理解をもとに対人関係とコミュニケーションについて理解する。また、コミュニケーションの技法の基礎を学び、組織におけるコミュニケーションについて理解する。チームマネジメントでは、ヒューマンサービスとしての介護サービスの特徴を 踏まえ、チーム運営の基本や人材育成の管理法の基礎を学ぶ。					
【授業の到達目標】 ・視覚障害者の日常生活・心理等について知識理解を深める。 ・視覚障害者のコミュニケーション、特に点字について理解し技能を習得することができる。 ・点字器による点訳書製作やパソコンを活用した点訳書製作ができる。					
【授業の内容】					
1	点字の仕組み	五十音の読み方	点字器の使い方		
2	点字を打つ時のポイント				
3	濁音・半濁音・拗音	2マスでつくる字			
4	濁音・半濁音・拗音・特殊音	の入った語句の点訳・墨訳			
5	点字の表記	仮名遣い	「う」の表し方		
6	点字の表記	仮名遣い	外来語	促音	文の読み
7	仮名遣いまとめ	名前を点字で	数字の表し方		
8	数字の表し方	数符を使うとき	カナを使うとき		
9	数符を使った文の点訳・墨訳				
10	分節分かち書き				
11	視覚障がい者の状況				
12	点字で手紙を書こう				
13	アルファベットの表し方	略語と英単語	英文のちがひ		
14	アルファベット表し方	読み			
15	数字・アルファベットの注意				
【成績評価の方法と基準】 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評価は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 『初めての点訳』 全国視覚障がい者情報提供施設協会					
【参考書】					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん こうき 2年(後期)	にんげん しやかい 人間と社会	ひっしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かまく めい 科目名	にんげん りかい 人間の理解Ⅳ (にんげんかんけい 人間関係とコミュニケーション・点字)	たん とう 担 当	たなか ゆうこ 田中 祐子		
【授業の概要】 人間関係とコミュニケーションの基礎では、自己理解、他者理解をもとに対人関係とコミュニケーションについて理解する。また、コミュニケーションの技法の基礎を学び、組織におけるコミュニケーションについて理解する。チームマネジメントでは、ヒューマンサービスとしての介護サービスの特徴を 踏まえ、チーム運営の基本や人材育成の管理法の基礎を学ぶ。					
【授業の到達目標】 ・視覚障害者の日常生活・心理等について知識理解を深める。 ・視覚障害者のコミュニケーション、特に点字について理解し技能を習得することができる。 ・点字器による点訳書製作やパソコンを活用した点訳書製作ができる。					
【授業の内容】					
16	わかち書き 補助動詞				
17	わかち書き 補助動詞 連体詞 副詞 複合語				
18	わかち書き 複合語 固有名詞				
19	わかち書き 固有名詞 記号類(句点・読点)				
20	記号類 (カッコ・カギ・棒線・点線)				
21	点訳絵本作成オリエンテーション 絵本点訳(1)				
22	絵本点訳(2)				
23	絵本点訳(3)				
24	パソコン点訳(1) 6点入力				
25	パソコン点訳(2) 言葉・文の入力				
26	パソコン点訳(3) 記号・文の入力 入力方法				
27	パソコン点訳(4) 絵本作製				
28	パソコン点訳(5) 絵本作製				
29	パソコン点訳(6) 絵本校正 仕上げ				
30	点訳まとめ				
【成績評価の方法と基準】 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評価は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 『初めての点訳』 全国視覚障がい者情報提供施設協会					
【参考書】					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報		ねん ぜんき 2年(前期)	にんげん しゃかい 人間と社会	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	にんげん りかい 人間の理解Ⅲ (人間関係とコミュニケーション・手話)		たん どう 担 当	やない ようこ 柳井 洋子		
【授業の概要】						
人間関係とコミュニケーションの基礎では、自己理解、他者理解をもとに対人関係とコミュニケーションについて理解する。また、コミュニケーションの技法の基礎を学び、組織におけるコミュニケーションについて理解する。チームマネジメントでは、ヒューマンサービスとしての介護サービスの特徴を 踏まえ、チーム運営の基本や人材育成の管理法の起訴を学ぶ。						
【授業の到達目標】						
・聴覚障害者問題の理解と解決のために音のない世界、聞こえない人たちの苦しみ、不便さを社会福祉の中で考えることができる						
・聞こえない人と手話で簡単な日常会話ができる。						
・聴覚障害者について理解する。・超買う障害者や手話について、その歴史、現状、課題を知ることができる。						
・コミュニケーションの大切さや楽しさを体験する。						
【授業の内容】						
1	しゅわ きそ じこしょうかい 手話の基礎 自己紹介					
2	しゅわ 手話によるコミュニケーション① 伝え合う					
3	しゅわ 手話によるコミュニケーション② 伝え合う					
4	しゅわ 手話によるコミュニケーション③ 単語					
5	しゅわ 手話によるコミュニケーション④ 会話 指文字					
6	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑤ 手話の読み取り					
7	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑥ 困ること① パーの形の手話					
8	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑦ 困ること②③ グーの形の手話					
9	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑧ 困ること④⑤ 指さしの形の手話					
10	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑨ 困ること⑥ 「手話言語条例について」					
11	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑩ 視覚言語としての手話の使い分け					
12	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑪ 困ること⑦ 疑問文 「難聴のしくみ」					
13	きもち しゅわ さいがい とき こま 気持ちの手話 災害の時に困ること					
14	ひょうげん じこしょうかい しつもん 表現テスト 自己紹介と質問					
15	ひょうげん たんご ふくしゅう 表現テスト 単語の復習					
【成績評価の方法と基準】						
講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。						
評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D						
【テキスト】						
『ハジメテノ手話テキスト』 全国手話研修センター						
『ボランティアの手引き』 大分県聴覚障がい協会						
【参考書】						
【備考】						

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん こうき 2年(後期)	にんげん しゃかい 人間と社会	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かめく めい 科目名	にんげん りかい 人間の理解Ⅲ (人間関係とコミュニケーション・手話)	たん とう 担 当	やない ようこ 柳井 洋子		
【授業の概要】					
にんげんかんけい 人間関係とコミュニケーションの基礎では、自己理解、他者理解をもとに対人関係とコミュ ニケーションについて理解する。また、コミュニケーションの技法の基礎を学び、組織におけるコミュニケ ーションについて理解する。チームマネジメントでは、ヒューマンサービスとしての介護サービスの特徴を 踏 まえ、チーム運営の基本や人材育成の管理法の起訴を学ぶ。					
【授業の到達目標】					
・聴覚障害者問題の理解と解決のために音のない世界、聞こえない人たちの苦しみ、不便さを社会福祉の中で考えることができる。 ・聞こえない人と手話で簡単な日常会話ができる。 ・聴覚障害者について理解する。・超買う障害者や手話について、その歴史、現状、課題を知ることができる。 ・コミュニケーションの大切さや楽しさを体験する。					
【授業の内容】					
16	しゅわ 手話によるコミュニケーション①	とどうふけん しゃわ 都道府県の手話①			
17	しゅわ 手話によるコミュニケーション②	とどうふけん しゃわ 都道府県の手話②			
18	しゅわ 手話によるコミュニケーション③	しゅわ ひょうじょう わたしことり すず 手話の表情①「私と小鳥と鈴と」			
19	しゅわ 手話によるコミュニケーション④	しゅわ ひょうじょう わたしことり すず 手話の表情②「私と小鳥と鈴と」 うなずき			
20	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑤	たんご かいわ げんざい かも みらい 単語と会話 現在・過去・未来			
21	え CL① 絵しりとり				
22	レストランで困ること				
23	ショッピングで困ること				
24	かいわれんしゅう しゃわ CL④ 会話練習 手話コーラス				
25	こうりゅうかい れんしゅう 交流会の練習				
26	どうし めいし CL⑤ 動詞と名詞				
27	たんぶんれんしゅう 短文練習①				
28	たんぶんれんしゅう 短文練習②				
29	たんぶんれんしゅう 短文練習③				
30	たんご ふくしゅう たんぶん 単語復習 短文テスト				
【成績評価の方法と基準】					
こうぎ とりくみ(しゅつせき・じゅこうたいど・ていしゅつぶつなど) ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん てんい 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『ハジメテノ手話テキスト』 ぜんこくしゅわけんしゅう 全国手話研修センター 『ボランティアの手引き』 てび おおいたけちようかしよう きょうかい 大分県聴覚障がい協会					
【参考書】					
【備考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	かいご 介護	必修	たんい じかん 1単位30時間	じゅぎょうたい こうぎ えんしゅう 授業形態(講義+演習)
科目名	せいかつしえんぎじゅつ 生活支援技術Ⅰ	たん とう 担 当	とがわ かよこ 戸川 佳良子		
			かいごふくし じつむけいけん 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】 生活支援技術では、ICFの視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境、移動、身支度、食事、入浴・清潔保持、排せつ、家事、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具の意義と活用について基礎的な知識・技術を学ぶ。					
【授業の到達目標】 住まいの役割と機能、加齢と生活空間、快適な室内環境を理解する。生活支援における福祉用具の重要性、適切な福祉用具を選ぶための視点を習得する。					
【授業の内容】					
1	す 住まいの役割と機能				
2	せいかつくうかん いみ 生活空間の意味				
3	かいてき しつないかんきょう 快適な室内環境				
4	あんぜん く 安全に暮らすための生活環境				
5	こうれいしゃ しょう しゃ す 高齢者・障がい者の住まい				
6	きょじゅうかんきょう せいび 居住環境の整備における多職種との連携				
7	せいかつしえん ふくしょうぐ じゅうようせい 生活支援における福祉用具の重要性				
8	ふくしょうぐ しゅるい 福祉用具の種類				
9	てきせつ ふくしょうぐ えら 適切な福祉用具を選ぶための視点①				
10	てきせつ ふくしょうぐ えら 適切な福祉用具を選ぶための視点②				
11	おうきゅうであて 応急手当について				
12	おうきゅうであて じっさい 応急手当の実際				
13	ひさいち かつやく さい 被災地で活躍する際の心構え				
14	さいがいじ せいかつしえん 災害時における生活支援				
15	まとめ				
【成績評価の方法と基準】 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 『生活支援技術Ⅰ』 <最新・介護福祉士養成講座 第6巻> 中央法規出版					
【参考書】					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん こうき 1年(後期)	きょうよう 教養	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
科目名	きょうようこくご 教養国語	たん とう 担 当	とみなり ひろまさ 富成 碩甫		
【授業の概要】					
文章の構成について、読む・書くを主体に、読みやすい文章の書き方を学ぶ。実習記録や介護記録の様式を用い、実践的な記録の方法について学ぶ。					
【授業の到達目標】					
・文章を読み解く技術を身に付ける。 ・文章を書くための技術を身に付ける。 ・実用的な国語力を身に付ける。 ・語彙力を身に付ける。					
【授業の内容】					
16	「書くこと」を見つける 文章の整え方①				
17	文章の整え方②				
18	文章の整え方③				
19	文章の整え方④				
20	文章の整え方⑤				
21	敬語の使い方①				
22	敬語の使い方② 敬語動詞 用語漢字				
23	敬語動詞 敬語問題				
24	手紙の書き方 封書				
25	手紙の書き方 便箋				
26	履歴書の書き方 試験対策作文「介護福祉士に必要なこと」				
27	暦法について 試験対策作文練習				
28	用語漢字 試験対策作文練習				
29	用語漢字 試験対策作文練習				
30	用語漢字 試験対策作文練習				
【成績評価の方法と基準】					
講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
オリジナルプリント					
【参考書】					
【備考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	きょうよう 教養	必修	1単位30時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
科目名	きょうようこくご 教養国語	担当	とみなり ひろまさ 富成 碩甫		
【授業の概要】 文章の構成について、読む・書くを主体に、読みやすい文章の書き方を学ぶ。 実習記録や介護記録の様式を用い、実践的な記録の方法について学ぶ。					
【授業の到達目標】 ・介護記録の書き方 ・介護記録の読み方 ・介護記録の活かし方					
【授業の内容】					
1	介護記録の書き方「事実を明確に書く」				
2	介護記録の書き方「敬語の使い方」				
3	介護記録の書き方「よりよいケアのための書く」				
4	介護記録の書き方「尊厳を大切にする視点」①				
5	介護記録の書き方「尊厳を大切にする視点」②				
6	介護記録の書き方「プライバシー」				
7	介護記録の書き方 ヒヤリハット 「転倒」				
8	介護記録の書き方「特変なし」				
9	5W1Hで書く 総合問題				
10	「何を どうしたら どうなった」で書く 総合問題				
11	介護記録「利用者様の情報」				
12	介護記録「医療的ケア」				
13	介護記録「認知症ケア」① 介護百人一首				
14	介護記録「認知症ケア」② 介護百人一首				
15	介護記録を書く				
【成績評価の方法と基準】 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 オリジナルプリント					
【参考書】					
【備考】					

きほん じょうほう 基本情報	ねん ぜんき 1年(前期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 10単位456時間	じゅぎょうたいじ 授業形態(実習)
かきく めい 科目名	かいごじしゅう 介護実習 I	たん とう 担 当			
じゅぎょう がいよう 【授業の概要】 かいごじしゅう こ こ せい かい かんてん きまざま せい かい づ へつ かり かい じょうしや かぞく じっせんか 介護実習では、個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において 個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介 いごじゅつ かくにんたよくしゅきやうどあんけいきかん れんけいつう いちいん かいごふく しし やくわり かりかい こべつ おこ こ こ せい かつ 護 技術の確認、多職種協働や関係機関 との連携を通じてチームの一員としての介護福 祉士の役割を理解する。個別ケアを行うために、個々の生 活リズムや こせい かりかい じょうしや そ じょうしや かいごけいかく さくせい じし じしご ひょうか けいかく しゅうせい いちれん かいごかてい てんかい ほかかもく がくしゅう 個性を理解し、利用者のニーズに沿 って利用者ごとの介護計画の作成、実施、実施後の評価、計画の修正といった一連 の介護過程を展開し、他科目で学習し た知識や技術を総合して、具体的な介護サー ビ スの提供の基本となる実践力を身につける。					
じゅぎょう とうたつむくひょう 【授業の到達目標】 かいごふくしし かつやく きまざま ふくしせつ がいよう し ①介護福祉士の活躍する様々な福祉施設の概要を知る。 かいごふくしし やくわり かりかい ②介護福祉士の役割を理解する。 たいせつ し ③コミュニケーションの大切さを知る。					
じしゅう ないよう 【実習の内容】 ふくしせつ がいよう し 1. 福祉施設の概要を知る。 うんえいほうしん とくよく たいしじょうりやちや しよくいんしよくしゅ きょうむたいせい いし 運営方針・特色・対象利用者・職員の職種・業務体制などを知る。 しせつかいようきろく ひょう さくせい 施設概要記録表を作成する。 かいごふくしし やくわり かりかい 2. 介護福祉士の役割を理解する。 かいごふくしし やくわり かりかい 介護職員の業務内容を知る。 しせつべつ かいごふくしし やくわり かりかい 施設別の介護福祉士の役割を理解する。 かいごじゅつ いみ かんが こんきょ いしき じっせん 介護技術の意味を考え、根拠を意識して実践する。 たいせつ し 3. コミュニケーションの大切さを知る。 りょうしや せつきよくてき はか 利用者と積極的にコミュニケーションを図る。 りょうしや そんげんほじ じゅうようせい し 利用者の尊厳保持の重要性を知る。 めせん あ けいちよう 目線を合わせ、傾聴する。 こえ おお たか そくど ひょうじょうかんが 声の大きさ、高さ、速度、表情を考える。 りょうしや きより きょうかんでいど かりかい 利用者との距離、共感的態度を理解する。 しどうしよくいん ほうこく れんらく そうだん おこな 指導職員に報告・連絡・相談を行う。 じぶん しょうがい あき えんじもゆうりようご すみ ほうこく 自分の所在を明らかにし、援助終了後は速やかに報告できるようにする。 も かた まな 4. カンファレンスの持ち方を学ぶ。 実習進度の調整を含めた振り返りを行う。 5. 実習記録表の正しい記録方法を学ぶ。 1日の実習内容と考察、振り返りを実習記録表に記録し、実習のまとめを行う。 しどうしや かなら かいとう ひつよう ばあい こうとう つぎ ひ ききく なか きさい 指導者のコメントは必ず読み、回答が必要な場合は、口頭もしくは次の日の記録の中に記載する。					
せいせいきょうか ほうほう きじゆん 【成績評価の方法と基準】 じしゅう じゆんかいしどう ないよう しせつひょうか とう 実習への取組み20%、、巡回指導の内容、施設評価等を80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格 とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
さんこうしよ 【参考書】					
び こう 【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん こうき 1年(後期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 10単位456時間	じゅぎょう たいじっしゅう 授業形態(実習)
かもく めい 科目名	かいごじっしゅう 介護実習Ⅱ	たん とう 担 当			
【授業の概要】 かいごじっしゅう こ こ せいかつ こせい りかい かんてん さまざま せいかつば こべつ りかい りようしや かぞく じっせんか 介護実習では、個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において 個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介 いごぎじゅつ かくにんたしよくしゅきょうどうかんけいきかん れんけいつう いちいん かいごふくし し やくわり りかい こべつ おこ せい かつ 護 技術の確認、多職種協働や関係機関 との連携を通じてチームの一員としての介護福 祉士の役割を理解する。個別ケアを行うために、個々の生 活リズムや こせい りかい りようしや そ りようしや かいごけいかくさくせいじっし じっしご ひょうかけいかくしゅうせい いちれん かいごかてい てんかい ほかかもく がくしゅう 個性を理解し、利用者のニーズに沿 って利用者ごとの介護計画の作成、実施、実施後の評価、計画の修正といった一連 の介護過程を展開し、他科目で学習し ちしき ぎじゅつ そうごう ぐたいてき かいご ていきょうきほん じっせんりよみ た知識や技術を総合して、具体的な介護サー ビスの提供の基本となる実践力を身につける。					
【授業の到達目標】 ①利用者の状態を観察することができる。 ②安全性と快適さに配慮した介護技術を実践することができる。 ③対人援助を意識したコミュニケーションをとることができる。					
【実習の内容】 1. 利用者の状態を観察する。 利用者とのコミュニケーションを図るとき、なにをし、何を知らうとするのかを意識し、意図をもって観察する。 利用者の身体的・精神(心理)的・社会的・生活歴の視点から情報をまとめ、全体像を把握する。 2. 安全性と快適さに配慮した介護技術を実践する。 個別介護の必要性を理解し、個々の利用者に適した介護技術を体得する。 利用者の状態を把握し、根拠に基づいた介護技術の実践を行う。 指導者の指導のもと、実践する。 24時間の生活援助を学ぶ。 生活援助は利用者の24時間の生活を把握することから始まることを理解する。 3. 対人援助を意識したコミュニケーションをとることができる。 援助場面において、行う援助の説明、同意を得る、体調観察等、適切な声かけを行う。 尊厳をもってコミュニケーションを図り、信頼関係を築く。 4. カンファレンスの持ち方を学ぶ。 実習進捗の調整を含めた振り返りを行う。 実習終了時には、実習課題の達成度および2段階実習の振り返りを実習指導者へ報告し、指導者から助言をいただく。					
【成績評価の方法と基準】 実習への取組み20%、巡回指導の内容、施設評価等を80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
【参考書】					
【備考】					

基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	かいご 介護	必修	たんい じかん 10単位456時間	じゆぎょうたいじじしゅう 授業形態(実習)
科目名	かいごじしゅう 介護実習Ⅲ	たん とう 担 当			
【授業の概要】 介護実習では、個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において 個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割を理解する。個別ケアを行うために、個々の生活リズムや個性を理解し、利用者のニーズに沿って利用者ごとの介護計画の作成、実施、実施後の評価、計画の修正といった一連の介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を身につける。					
【授業の到達目標】 ①介護過程の展開を理解する。 ②根拠に基づいた介護技術を実践できる。					
【実習の内容】 1. 介護過程の展開方法を理解する。 展開に必要な情報を収集する。 対象者を決定し、情報収集を行う。 アセスメント表に情報を記録する。 アセスメントを行い、生活課題を明確にする。 情報の解釈・関連付け・統合化を行う。 アセスメント表に記録する。 個別援助計画を立案する。 短期目標・長期目標を設定する。 援助内容・支援方法を設定する。 個別援助計画書に記録する。 個別援助計画を実施する。 立案した個別援助計画に基づき支援を実施する。 自立支援・安全性・尊厳の保持に留意する。 実施記録表に記録する。 2. 根拠に基づいた介護技術を実践する。 介護計画に基づいた個別介護を理解する。 利用者一人ひとりに適した介護方法を実践する。 根拠に基づいた介護技術の実践を行う。 夜勤実習を通して、利用者の24時間の生活を支援する。 3. カンファレンスの持ち方を理解する。 カンファレンスの運営方法を知り、援助方法へのつながり、多職種協働を理解する。 4. 実習記録表を記入する。 1日の実習内容と考察、振り返りを実習記録表に記録し、実習のまとめを行う。 指導者に提出し、指導者からのコメントは必ず読む。					
【成績評価の方法と基準】 実習への取り組み20%、巡回指導の内容、施設評価等を80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
【参考書】					
【備考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	かいご 介護	ひっしゅう 必修	たんい じかん 1単位30時間	じゅぎょう けい 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	かいご きほん 介護の基本Ⅳ	たん とう 担 当	おかだ けいこ 岡田 恵子		
【授業の概要】					
かいご きほん かいごふくし きほん りねん りかい かいごふくし りんり もと やくわり きのう かいご ひつよう 介護の基本では、介護福祉の基本となる理念を理解し、介護福祉士としての倫理に基づき、その役割と機能である、介護を必要 とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援、介護実践における安 全とリスクマネジメント、多職種連携、介護従 事者の安全 に関して、介護実践の基礎となる知識を理論的に 学ぶ。					
【授業の到達目標】					
・レクリエーション しえん りかい みを 支援の理解を深め、コミュニケーションを磨く					
・アイスブレーキング、ホスピタリティを りかい 理解する					
・レクリエーション かつどう じっせん しどうほうほう み つ 活動の実践、指導方法を身に付ける					
【授業の内容】					
1	レクリエーションの りかい じっせん 理解 (実践)コミュニケーションスキルアップ①				
2	レクリエーション かつどう こころ しく じっせん 活動がもたらす心の仕組み① (実践)コミュニケーションスキルアップ②				
3	レクリエーション かつどう こころ しく じっせん 活動がもたらす心の仕組み② (実践)コミュニケーションスキルアップ③				
4	レクリエーション かつどう こころ しく じっせん 活動がもたらす心の仕組みⅢ (実践)コミュニケーションスキルアップ④				
5	ライフステージ・対象者ごとの課題の共有				
6	ICFに基づいたレクリエーション しえん りかい 支援の理解①				
7	ICFに基づいたレクリエーション しえん りかい 支援の理解②				
8	セラピューティックレクリエーションの りかい 理解				
9	アイスブレーキング・ホスピタリティーの りかい じっせん 理解 (実践)グループワーク①				
10	レクリエーション かつどうてんかいほう じっせん 活動展開法 (実践)グループワーク②				
11	レクリエーション かつどう じっせん しどう じっせん 活動の実践・指導① (実践)グループワーク③				
12	レクリエーション かつどう じっせん しどう じっせん 活動の実践・指導② (実践)グループワーク④				
13	レクリエーション かつどう じっせん しどう じっせん 活動の実践・指導③ (実践)グループワーク⑤				
14	レクリエーション かつどう じっせん しどう じっせん 活動の実践・指導④ (実践)グループワーク⑥				
15	レクリエーション かつどう じっせん しどう じっせん 活動の実践・指導⑤ (実践)グループワーク⑦				
【成績評価の方法と基準】					
こうぎ とりくみ(しゅつせき・じゅこうたいど・ていしゅつぶつなど) ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん てんい 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以 上を合格とする。					
ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
たの こころ げんき しえん りろん ほうほう にほん きょうかい 『楽しさとおした心の元気づくり・レクリエーション支援の理論と方法』日本レクリエーション協会					
さんこうしょ 【参考書】					
び こう 【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん こうき 1年(後期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 1単位30時間	じゅぎょういたい 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	かいご きほん 介護の基本Ⅲ	たん とう 担 当	いちかわ やすあき 市川 泰朗		
			りがくりょうほうし じつむけいけん 理学療法士としての実務経験		
【授業の概要】					
かいご きほん かいごふくし きほん りねん りかしかいごふくし りんり もと やくわり きのう 介護の基本では、介護福祉の基本となる理念を理解し、介護福祉士としての倫理 に基づき、その役割と機能である、 かいご ひつよう ひと りかい せいかつ ささ じりつしえん、 かいごじっせん あんぜん たしよくしゅれん 介護を必要とする人の理解と生活を支えるしく み、自立支援、介護実践における安全とリスクマネジメント、他職種連 携、介護従事者の安全に関して、介護実践の基礎となる知識を理論的に 学ぶ。					
【授業の到達目標】					
さんげん ぼじ じりつしえん かいご かんがえかた、 りかい とも かいご ひつよう ひと せいかつ かんてん たら 「尊厳の保持」「自立支援」という介護の考え方を理解すると共に、「介護を必要とする人」を、生活の観点から捉える ための学習とする。また介護における安全やチームケア等について理解する。					
【授業の内容】					
1	コースオリエンテーション				
2	そうろん 総論① リハビリテーションの理念・領域と役割 りねん りょういき やくわり				
3	そうろん 総論② リハビリテーションの考え方・ICFについて かんが かと				
4	そうろん 総論③ リハビリテーションと福祉用具・住宅改造 ふくしやうぐ じゅうたくかいぞう				
5	じつぎ 実技① 基本動作の介助法・ボディメカニクス きほんどうさ かいじょほう				
6	かくろん 各論① リハビリテーション介護① かいご				
7	かくろん 各論② リハビリテーション介護② かいご				
8	かくろん 各論③ 高齢者のリハビリテーション こうれいしゅ				
9	かくろん 各論④ 障害別のリハビリテーションの実際① 廃用症候群 しょうがいべつ じっさい はいようしょうこうぐん				
10	かくろん 各論⑤ 障害別のリハビリテーションの実際② 脳卒中 しょうがいべつ じっさい のうそっちゅう				
11	かくろん 各論⑥ 障害別のリハビリテーションの実際③ 整形外科疾患 しょうがいべつ じっさい せいけいげか しつかん				
12	じつぎ 実技② 車イス操作・杖歩行・腰痛体操 くるま そうさ つえほこう ようつうたいそう				
13	かくろん 各論⑦ ICFケーススタディ				
14	かくろん 各論⑧ 地域リハビリテーション ちいき				
15	まとめ				
【成績評価の方法と基準】					
こうぎ とりくみ(しゅつせき・じゅこうたいど・ていしゅつぶつなど) ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん てんい 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以 じょう ごうかく 上を合格とする。 ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
かいご きほん さいしん かいごふくし ようせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『介護の基本Ⅰ』 <最新・介護福祉士養成講座 第3巻> 中央法規出版 オリジナルプリント					
【参考書】					
【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん ぜんき 1年(前期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	かいご きほん 介護の基本 I	たん とう 担 当	とがわ かよこ 戸川 佳良子		
			かいご ふくし 介護福祉士としての実務経験		
じゅぎょう がいよう 【授業の概要】					
かいごふくし きほん りねん ちいき きほん せいかつ けいぞくせい しえん 介護福祉士の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての のうりよく やしな まな の能力を養うことを学ぶねらいとしていく。					
じゅぎょう とうたつもくひよう 【授業の到達目標】					
① かいごふくし きほん りねん およ かいご がいねん ただ りかい 介護福祉士の基本となる理念及び介護の概念を正しく理解する。					
② かいごふくし やくわり きのお りかい 介護福祉士の役割と機能について理解する。					
③ かいごふくし りんり りかい 介護福祉士の倫理について理解する。					
④ じりつ む かいご してん かいごよぼう してん とう まな ためんてき りかい 自立に向けた介護について、ICFの視点やリハビリテーションの視点、介護予防の視点等を学び多面的に理解していく。					
じゅぎょう ないよう 【授業の内容】					
1	オリエンテーション せんもんしよく かいご たんじよう しゃかいてき はいけい 専門職による「介護」が誕生した社会的な背景				
2	かいご な た 介護の成り立ちについて				
3	かいご がいねん へんせん① 1970 ねんだい 介護の概念の変遷① 1970年代～				
4	かいご がいねん へんせん かいご ぎょう へんせん かいごふくし 介護の概念の変遷② 介護の業の変遷と介護福祉士				
5	かいごふくし きほんりねん そんげん さき かいご 介護福祉の基本理念① 尊厳を支える介護とは				
6	かいごふくし きほんりねん じりつ さき かいご 介護福祉の基本理念② 自立を支える介護とは				
7	じれい かいごふくし りねん じっせん かんが 事例から「介護福祉の理念」と「実践」を考える①				
8	じれい かいごふくし りねん じっせん かんが 事例から「介護福祉の理念」と「実践」を考える②				
9	かいごふくし やくわり きのお ちいきほうかつ 介護福祉士の役割と機能① 地域包括ケアシステムについて				
10	かいごふくし やくわり きのお かいごふくし かつやく ば しゅうまき 介護福祉士の役割と機能② 介護福祉士が活躍する場と終末期のケアについて				
11	かいごふくし やくわり きのお さいがいじ しえん 介護福祉士の役割と機能③ 災害時の支援				
12	しゃかいふくしおよ かいごふくしほう かいごふくし ぎむきてい しゅとくほうほう 社会福祉士及び介護福祉士法について 介護福祉士の義務規定と取得方法について				
13	もと かいごふくしぞう 求められる介護福祉士像について				
14	しょう ていきしけん たいさく 小テストと定期試験対策				
15	かえ ふり返りとまとめ				
せいせきようか ほうほう きじゆん 【成績評価の方法と基準】					
こうぎ と く しゅつせきしゅこうたいど ていしゅつづとう ていきこうさ せいせき ひようか てんまんてん ひようか ひようかてん て 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点 んいじょう ごうかく 以上を合格とする。 ひようてい ひようかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
かいご きほん さいしん かいごふくししゅうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつぽん 『介護の基本 I』 <最新・介護福祉士養成講座 第3巻> 中央法規出版					
さんこうしょ 【参考書】					
び こう 【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん こうき 1年(後期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かまく めい 科目名	かいご きほん 介護の基本 I	たん とう 担 当	とがわ か よしこ 戸川 佳良子		
			かいご ふくし 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】					
かいごふくし きほん りねん ちいき きぼん せいかつ けいぞくせい しえん 介護福祉士の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての のうりよく やしな まな の能力を養うことを学ぶねらいとしていく。					
【授業の到達目標】					
① かいごふくし きほん りねん およ かいご がいねん ただ りかい 介護福祉士の基本となる理念及び介護の概念を正しく理解する。					
② かいごふくし やくわり きのお りかい 介護福祉士の役割と機能について理解する。					
③ かいごふくし りんり りかい 介護福祉士の倫理について理解する。					
④ じりつ む かいご してん かいごよぼう してん とう まな ためんてき りかい 自立に向けた介護について、ICFの視点やリハビリテーションの視点、介護予防の視点等を学び多面的に理解していく。					
【授業の内容】					
16	かいごふくし りんり 介護福祉士の倫理について①	りんりてき かいごじっせん 倫理的な介護実践について			
17	かいごふくし りんり 介護福祉士の倫理について②	じれい もと りんりてき かいごじっせん 事例に基づいた倫理的な介護実践			
18	にほんかいごふくしかい りんりこうりょう 日本介護福祉士会の倫理綱領				
19	じりつしえん かんががた 自立支援の考え方				
20	かんががた ICFの考え方について				
21	じりつしえん 自立支援とリハビリテーション①				
22	じりつしえん 自立支援とリハビリテーション②				
23	じりつしえん かいごよぼう 自立支援と介護予防について①				
24	じりつしえん かいごよぼう 自立支援と介護予防について②				
25	しょう かえ 小テストとふり返り				
26	じっせんがく かいご 実践学としての介護				
27	しょうがいしゃ じりつ しょうがいしゃしんり よ と じりつしえん かんががた 障害者にとっての自立 障害者心理から読み取る自立支援の考え方				
28	せんもんしよく なか かいごふくし みりよく 専門職の中における介護福祉士の魅力				
29	ていきしけんたいさく 定期試験対策				
30	ぜんたい かえ 全体のふり返りとまとめ				
【成績評価の方法と基準】					
こうぎ と く しゅつせきじゅこうたいど ていしゅつづつとう ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん て 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点 ないじょう ごうかく 以上を合格とする。					
ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
かいご きほん さいしん かいごふくししやうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつぽん 『介護の基本 I』 <最新・介護福祉士養成講座 第3巻> 中央法規出版					
さんこうしょ 【参考書】					
び こう 【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	きほん ぜんき 1年(前期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたいえんしゅう 授業形態(演習)
科目名	せいかつしえんぎじゅつ 生活支援技術Ⅱ-I	たん とう 担 当	しみず あきひこ 清水 明彦		
かいごふくし 介護福祉士としての実務経験					
【授業の概要】					
せいかつしえんぎじゅつ 生活支援技術では、ICFの視点(してん)を生活支援(せいかつしえん)に活かすこと(いぎ)の意義(りかい)を理解し、自立(じりつ)に向けた居住環境(きょじゅうかんきょういどう)、移動(みじたく)、身支度(しょくじ)、食事、入浴・清潔保持(いけつほじ)、排泄(はい)、家事(かじ)、休息・睡眠(きゅうそくすいみん)、人生(じんせい)の最終段階(さいしゅうだんかい)における介護(かいご)、福祉用具(ふくしようぐ)の意義(いぎ)と活用(かつよう)について基礎的な知識・技術(きじゅつ)を学ぶ。					
【授業の到達目標】					
かいごふくし 介護福祉士(しえん)は、支援(ひつよう)が必要な利用者(りようしゃ) (高齢者(こうれいしゃ)、障がい者(しょうがいしゃ))に対して、自立(じりつ)(自律)した生活(せいかつ)が送れる(おく)ように、利用者(りようしゃ)個々(ここ)の状況(じょうきょう)に合わせた介護(かいご)を行う専門職(せんもんしやく)である。生活支援技術(せいかつしえんぎじゅつ)では、利用者(りようしゃ)が尊厳(そんげん)をもって、その人らしい生活(せいかつ)を送る(おく)うえで、介護職(かいごしやく)が支援(しえん)する際(さい)に必要な考え方(ひつよう)や技法(かぎほう)を習得(しゅうとく)する。					
【授業の内容】					
1	せいかつしえん きほんてき かんが かんが 生活支援の基本的な考 え方				
2	しつないかんきょう ちょうせい 室内環境 の 調整				
3	ベッドメイキング				
4	がしょうじ 臥床時のベッドメイキング				
5	しょくじ かいご 食事の介護				
6	りようしゃ じょうたい おう しょくじ 利用者の状態に応じた食事				
7	せいけつほじ かいご 清潔保持の介護				
8	せいけつほじ かいご きほん 清潔保持の介護の基本				
9	せいけつほじ かいご じっさい 清潔保持の介護の実際				
10	にゅうよく かいご りゅういてん 入浴の介護の留意点				
11	にゅうよく かいご じっさい 入浴の介護の実際				
12	はいせつ かいご 排泄の介護				
13	はいせつ かいご りゅういてん 排泄の介護の留意点				
14	はいせつ かいご じっさい 排泄の介護の実際				
15	ぜんき ふ かえ ぜんきしけん たいさく かいせつ 前期振り返り 前期試験対策・解説				
【成績評価の方法と基準】					
こうぎ とりく ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん てんいじょう ごうかく 講義への取組み20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
せいかえん ぎじゅつ さいしん かいごふくししょうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつぽん 『生活支援技術Ⅱ』 <最新・介護福祉士養成講座 第7巻> 中央法規出版					
【参考書】					
【備 考】					

シラバス

令和8年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん こうき 1年(後期)	せんもんかもく 専門科目	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうたい えんしゅう 授業形態(演習)
かもく めい 科目名	せいかつしえんぎじゅつ 生活支援技術Ⅱ-I	たん とう 担 当	しみず あきひこ 清水 明彦		
			かいごふくし じつむけいけん 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】 せいかつしえんぎじゅつ してん せいかつしえん い いぎ りかい じりつ む きょじゅうかんきょうどう みじたく しよくに にゅうよくせ 生活支援技術では、ICFの視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境、移動、身支度、食事、入浴・清 いけつほし はい かじ きゅうそく すいみん じんせい さいしゅうだんかい かいご ふくしやうぐ いぎ かつよう きそてき ちしき ぎじゅつ まな 潔保持、排せつ、家事、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具の意義と活用について基礎的な知識・技術を学 ぶ。					
【授業の到達目標】 かいごふくし しえん ひつよう りようしゃ こうれいしゃ しょう しや たい じりつ じりつ せいかつ おく りようしゃ こに じようきやう 介護福祉士は、支援が必要な利用者(高齢者、障がい者)に対して、自立(自律)した生活が送れるように、利用者個々の状況に あ かいご おこな せんもんしよく せいかつしえんぎじゅつ りようしゃ せんげん ひと せいかつ おく かいごしよく しえん 合わせた介護を行う専門職である。生活支援技術では、利用者が尊厳をもって、その人らしい生活を送るうえで、介護職が支援 する際に必要な考え方や技法を習得する。					
【授業の内容】					
16	にゅうよく かいご とくしゅよくそう 入浴の介護 特殊浴槽①				
17	にゅうよく かいご とくしゅよくそう 入浴の介護 特殊浴槽②				
18	はいせつ かいご こうかん 排泄の介護 オムツ交換①				
19	はいせつ かいご こうかん 排泄の介護 オムツ交換②				
20	せいけつ かいご ぶぶんよく 清潔の介護 部分浴				
21	せいけつ かいご ぜんしんせいしき 清潔の介護 全身清拭				
22	きゅうそく すいみん 休息・睡眠とは				
23	きゅうそく すいみん かいご じつさい 休息・睡眠の介護の実際①				
24	きゅうそく すいみん かいご じつさい 休息・睡眠の介護の実際②				
25	きゅうそく すいみん かいご たしよくしゅ きやうどう 休息・睡眠の介護と多職種協働				
26	さいしゅうだんかい かいご いぎ やくわり 最終段階における介護の意義と役割				
27	さいしゅうだんかい かいご じつさい 最終段階における介護の実際①				
28	さいしゅうだんかい かいご じつさい 最終段階における介護の実際②				
29	さいしゅうだんかい かいご じつさい 最終段階における介護の実際③				
30	こうき ふ かえ こうきしけん たいさく かいせつ 後期振り返り 後期試験対策・解説				
【成績評価の方法と基準】 こうぎ とりく ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん てんいじょう こうかく 講義への取組み20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 ひょうてい ひょうかてん てんいじょう A てんいじょう てんみまん B てんいじょう てんみまん C てんみまん D 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
せいかもえん ぎじゅつ さいしん かいごふくししやうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『生活支援技術Ⅱ』 <最新・介護福祉士養成講座 第7巻> 中央法規出版					
【参考書】					
【備 考】					

シラバス

令和8年度

ちせんふくしせいけんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

基本情報		1年(後期)	介護	必修	2単位60時間	授業形態 (講義+演習)
科目名	介護過程の展開Ⅰ		担当	安達 智一		
				介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】						
介護過程では、介護過程の意義・目的及び介護過程展開の一連のプロセスに関する基礎的理解、介護過程とチームアプローチ、個別事例を通じた介護過程の展開の実際について、介護総合演習や介護実習、生活支援技術等他の科目との連動を視野に入れて、介護過程を展開できる能力を養う。						
【授業の到達目標】						
他の科目で学んだことを生かし、個別ケアを具体的に実現する方法を身に付けるために、介護過程は重要な科目である。介護過程Ⅰでは、個別ケアを実現するために必要な情報収集の方法を修得する。						
【授業の内容】						
1	介護過程の意義と目的			16	生活課題の明確化	
2	介護過程の全体像			17	介護計画の立案とは	
3	介護過程とICF			18	介護目標の設定 長期目標と短期目標	
4	生活支援における介護過程の意義			19	具体的な支援内容・支援方法①	
5	介護過程とケアマネジメント①			20	具体的な支援内容・支援方法②	
6	介護過程とケアマネジメント②			21	実施の留意点	
7	情報収集の目的			22	実施の記録	
8	情報収集の視点・方法・留意点			23	評価の意義と目的	
9	情報収集の実際 事例展開①			24	評価の内容と方法	
10	情報収集の実際 事例展開②			25	事例展開① 情報収集	
11	アセスメントの視点			26	事例展開② 情報収集	
12	アセスメントの方法① 情報の解釈			27	事例展開③ 情報収集	
13	アセスメントの方法② 情報の関連付け・統合化			28	事例展開④ アセスメント	
14	アセスメントの実際 事例展開①			29	事例展開⑤ アセスメント	
15	アセスメントの実際 事例展開②			30	前期のまとめ	
【成績評価の方法と基準】						
講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D						
【テキスト】						
『介護過程』 <最新・介護福祉士養成講座 第9巻> 中央法規出版						
【参考書】						
【備考】						

シラバス

令和8年度

ちせんふくしせいかせんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

基本情報		ねん ぜんき 2年(前期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょうけいたい こうぎ えんしゅう 授業 形態(講義+演習)
科目名		かいごかてい てんかい 介護過程の展開Ⅱ	たん とう 担 当	あだち ともかず 安達 智一		
				かいごふくし じつむけいけん 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】						
介護過程では、介護過程の意義・目的及び介護過程展開の一連のプロセスに関する基礎的理解、介護過程とチームアプローチ、個別事例を通じた介護過程の展開の実際について、介護総合演習や介護実習、生活支援技術等他の科目との連動を視野に入れて、介護過程を展開できる能力を養う。						
【授業の到達目標】						
「アセスメント」「計画の立案」「実施」「評価」の四つのプロセスについて、基礎的な知識を身に付けるとともに、事例を用いて、具体的な展開方法を理解する。						
【授業の内容】						
1	アセスメントの実際①			16	けいかくりつあん 計画立案	
2	アセスメントの実際②			17	じっし きろく 実施と記録	
3	せいかつしえん かだい もくひょう 生活支援の課題・目標のとらえ方			18	じっし きろく 実施と記録	
4	じれいてんかい かだい めいかくか もくひょう 事例展開① 課題の明確化・目標設定			19	ひょうか 評価	
5	じれいてんかい かだい めいかくか もくひょう 事例展開② 課題の明確化・目標設定			20	ひょうか 評価	
6	こべつえんじょ けいかく 個別援助計画とは			21	かいごかてい てんかい じっさい じれい 介護過程の展開の実際(事例2) 情報収集	
7	じれいてんかい けいかくりつあん じっさい 事例展開③ 計画立案の実際			22	アセスメント	
8	じれいてんかい けいかくりつあん じっさい 事例展開④ 計画立案の実際			23	かだい めいかくか 課題の明確化	
9	こべつえんじょ けいかく じっし りゆういてん 個別援助計画の実施の留意点			24	もくひょう せつてい 目標の設定	
10	じれいてんかい じっしきろく じっさい 事例展開⑤ 実施記録の実際			25	けいかくりつあん 計画立案	
11	かいごかてい ひょうか 介護過程における評価			26	けいかくりつあん 計画立案	
12	じれいてんかい ひょうか りゆういてん ひょうか きろく 事例展開⑥ 評価の留意点・評価の記録			27	じっし きろく 実施と記録	
13	かいごかてい てんかい じっさい じれい 介護過程の展開の実際(事例1)			28	ひょうか 評価	
14				29	ひょうか 評価	
15				30	ぜんき 前期のまとめ	
【成績 評価の方法と基準】						
講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D						
【テキスト】						
『介護過程』<最新・介護福祉士養成講座 第9巻> 中央法規出版						
【参考書】						
【備考】						

シ ラ バ ス

令和8年度

ちせんふくしせいかせんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん こうき 2年(後期)	かいご 介護	必修	たんい じかん 1単位30時間	じゅぎょうけいたい こうぎ えんしゅう 授業形態(講義+演習)
科目名	かいごかてい てんかい 介護過程の展開Ⅲ	たん とう 担 当	あだち ともかず 安達 智一		
			かいごふくし じつむけいけん 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】					
介護過程では、介護過程の意義・目的及び介護過程展開の一連のプロセスに関する基礎的理解、介護過程とチームアプローチ、個別事例を通じた介護過程の展開の実際について、介護総合演習や介護実習、生活支援技術等他の科目との連動を視野に入れて、介護過程を展開できる能力を養う。					
【授業の到達目標】					
「アセスメント」「計画の立案」「実施」「評価」の四つのプロセスについて、基礎的な知識を身に付けるとともに、事例を用いて、具体的な展開方法を理解する。					
【授業の内容】					
1	かいごかてい てんかい ふ かい 介護過程の展開Ⅱ 振り返り				
2	じれいけんとう こべつじれい さい 事例検討① 個別事例の再アセスメント				
3	じれいけんとう じっし 事例検討② 実施				
4	じれいけんとう ひようか 事例検討③ 評価				
5	じれいけんとう こべつじれい 事例検討④ 個別事例まとめ				
6	ケアマネジメントの全体像				
7	ケアプランと個別援助計画の関係性				
8	チームアプローチの意義				
9	とかい す ひとりぐ こうれいしゃ せいかつしえん 都会に住む1人暮らしの高齢者の生活 支援				
10	りとう しゅつしん こうれいしゃ ざいたくふつき しえん 離島出身の高齢者の在宅復帰支援				
11	ざいたく むか こうれいしゃ かぞく せいかつしえん 在宅でターミナルを迎える高齢者と家族の生活 支援				
12	いりようてき しょう ひつよう こうれいしゃ せいかつしえん 医療的な処置が必要な高齢者の生活 支援				
13	かたまひ こうれいしゃ ゆめ じつげん む しえん 片麻痺のある高齢者の夢の実現に向けた支援				
14	さいがい せいかつかんきょうおお へんか こうれいしゃ しえん 災害によって生活環境を大きく変化せざるをえなかった高齢者への支援				
15	こうき 後期まとめ				
【成績 評価の方法と基準】					
講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『介護過程』<最新・介護福祉士養成講座 第9巻> 中央法規出版					
【参考書】					
【備 考】					

シラバス

令和8年度

ちせんふくしせいかせんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報		ねん ぜんき 1年(前期)	かいご 介護	ひっしゅう 必修	たんい じかん 2単位60時間	じゅぎょう けいたい こうぎ えんしゅう 授業形態 (講義+演習)
かめく めい 科目名	かいごそうごうえんしゅう 介護総合演習Ⅰ	たん とう 担 当	あだち ともかず 安達 智一			
			かいごふくしし じつむけいけん 介護福祉士としての実務経験			
【授業の概要】						
かいごそうごうえんしゅう かくりよういき まな ちしき ぎじゅつ とうごう かいご じっせん かがくてき たんきゅう とお かいご じっしゅう まな しんか 介護総合演習は、各領域で学ぶ知識と技術の統合、介護実践の科学的探究を通し、介護実習での学びを深化させるとともに、かいご せんもんしよく しこう たいど けいせい じこきょういくりよくとう やしな そうごうてき がくしゅう 介護の専門職として思考や態度の形成、自己教育力等を養う総合的な学習 とする。						
【授業の到達目標】						
じつ ゆう きょういくこうか あ かいごじっしゅう まえ かいごぎじゅつ かくにん しせつ とう じっしゅう ご ほうこくかい 実習の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の報告会など、実習に必要な知識や技術について、そうごうてき りかい 総合的に理解する。						
【授業の内容】						
1	かいごじっしゅう いぎ もくてき 介護実習の意義と目的	16	じっしゅう ひつよう きろくぶつ 実習に必要な記録物②			
2	かいごじっしゅう なが 介護実習の流れ	17	じっしゅうきろく 実習記録について			
3	かいごじっしゅう しせつ がいよう 介護実習の施設概要①	18	じっしゅうきろく じっさい 実習記録の実際①			
4	かいごじっしゅう しせつがいよう 介護実習の施設概要②	19	じっしゅう きろく じっさい 実習記録の実際②			
5	じっしゅうほうこくかい 実習報告会	20	じっしゅうかだい 実習課題について			
6	けんがくじっしゅう こうれいしや ぎじたいけん 見学実習・高齢者疑似体験について	21	じっしゅう かだい じっさい 実習課題の実際			
7	こうれいしやぎじたいけん 高齢者疑似体験①	22	かいご じっしゅう じっさい 介護実習の実際①			
8	こうれいしやぎじたいけん 高齢者疑似体験②	23	かいごじっしゅう じっさい 介護実習の実際②			
9	けんがくじっしゅう 見学実習①	24	じっしゅうせい きほんじこう 実習生としての基本事項①			
10	けんがくじっしゅう 見学実習②	25	じっしゅうせい きほんじこう 実習生としての基本事項②			
11	だんかいじっしゅう いぎ もくてき 1段階実習の意義と目的	26	じっしゅう しせつべつ 実習施設別オリエンテーション			
12	だんかいじっしゅう ないよう 1段階実習の内容	27	ほうもん かいごじっしゅう 訪問介護実習オリエンテーション			
13	ほうもんかいごじっしゅう い ぎ もくてき 訪問介護実習の意義と目的	28	だんかいじっしゅうふ かえ 1段階実習振り返り①			
14	ほうもんかいごじっしゅう ないよう 訪問介護実習の内容	29	だんかいじっしゅうふ かえ 1段階実習振り返り②			
15	じっしゅう ひつよう きろくぶつ 実習に必要な記録物①	30	ひようかも う わた 評価申し渡し			
せいせき ひようか ほうほう きじゆん 【成績評価の方法と基準】						
こうぎ とりくみ(しゅつせき・じゅこうたいど・ていしゅつぶつなど) ていきこうさ せいせき ひようか てんまんてん ひようか ひようかてん てんいじょう こうかく 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 ひようてい ひようかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D						
【テキスト】						
かいごそうごうえんしゅう かいごじっしゅう さいしん かいごふくししやうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『介護総合演習・介護実習』 <最新・介護福祉士養成講座 第10巻> 中央法規出版						
さんこうしょ 【参考書】						
【備 考】						
び こう						

シラバス

令和8年度

ちせんふくしせいかせんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

基本情報		1年(後期)	介護	必修	1単位30時間	授業形態(講義+演習)
科目名	介護総合演習Ⅱ		担当	安達 智一		
				介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】						
介護総合演習は、各領域で学ぶ知識と技術の統合、介護実践の科学的探究を通し、介護実習での学びを深化させるとともに、介護の専門職として思考や態度の形成、自己教育力等を養う総合的な学習とする。						
【授業の到達目標】						
実習の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の事例報告会など、実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、総合的に理解する。						
【授業の内容】						
1	2段階実習の意義と目的					
2	2段階実習内容①					
3	2段階実習内容②					
4	2段階実習施設概要①					
5	2段階実習施設概要②					
6	実習課題について					
7	実習の記録物について					
8	実習報告会について					
9	実習施設別オリエンテーション					
10	実習帰校日					
11	2段階実習振り返り・評価申し渡し					
12	実習報告会準備①					
13	実習報告会準備②					
14	実習報告会準備③					
15	実習報告会準備④					
【成績 評価の方法と基準】						
講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D						
【テキスト】						
『介護総合演習・介護実習』 <最新・介護福祉士養成講座 第10巻> 中央法規出版						
【参考書】						
【備考】						

シラバス

令和8年度

ちせんふくしせいかせんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 1単位30時間	じゅぎょうこうぎ こうぎ えんしゅう 授業 形態(講義+演習)
かまく めい 科目名	かいご そうごうえんしゅう 介護総合演習Ⅲ	たん とう 担 当	あだち ともかず 安達 智一		
			かいごふくしし じつむけいいけん 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】 かいご そうごうえんしゅう かくりょういき まな ちしき ぎじゅつ とうごう かいごじっせん かがくてきたんきゅう とお かいごじっしゅう まな しんか 介護総合演習は、各領域で学ぶ知識と技術の統合、介護実践の科学的探究を通し、介護実習での学びを深化させるとともに、かいご せんもんしよく しこう たいど けいせい じこきょういくりよく とう やしな そうごうてき がくしゅう 介護の専門職として思考や態度の形成、自己教育力等を養う総合的な学習 とする。					
【授業の到達目標】 だい だんかいじっしゅう ひつよう ちしき ぎじゅつ とうごう おこな じっしゅう きょういくこうか たか じっしゅう ふ かえ かいご ちしき ぎじゅつ 第3段階実習に必要な知識や技術の統合を行い、実習での教育効果を高める。実習を振り返り、介護の知識や技術を実践と結びつけて、自己の課題を明確にし、専門職としての態度を習得する。					
【授業の内容】					
1	じっしゅうほうこくかひゅんぴ 実習報告会準備①				
2	じっしゅうほうこくかひゅんぴ 実習報告会準備②				
3	じっしゅうほうこくかい 実習報告会				
4	じっしゅうほうこくかい 実習報告会				
5	だんかじっしゅせつ がいようかい 3段階実習施設概要理解				
6	だんかじっしゅないよう 3段階実習内容について				
7	げんば じっしゅせいしゅつるいさくせい 現場実習提出書類作成				
8	やきん じっしゅう 夜勤実習について				
9	じぜんほうもん 事前訪問オリエンテーション				
10	じっしゅうきろく 実習記録について①				
11	じっしゅうきろく 実習記録について②				
12	じっしゅうかだい 実習課題について				
13	じっしゅうきこうび 実習帰校日①				
14	じっしゅうきこう び 実習帰校日②				
15	だんかいじっしゅうふ かえ 3段階実習振り返り				
せいせきひょうか ほうほう きじゅん 【成績評価の方法と基準】 こうぎ とりくみ(しゅつせき・じゅこうたいど・ていしゅつぶつなど) ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん てんいじょう ごうかく 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 こうぎ とりくみ(しゅつせき・じゅこうたいど・ていしゅつぶつなど) ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん てんいじょう ごうかく 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
さんこうしょ 【参考書】					
び こう 【備 考】					

シラバス

令和8年度

ちせんふくしせいかせんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 1年(前期)	にんげん しゃかい 人間と社会	必修	たんい じかん 1単位30時間	じゅぎょう けいたい こうぎ 授業 形態(講義)
科目名	しゃかい りかい 社会の理解 I	たん とう 担 当	あだち ともかず 安達 智一		
			かいごふくしし じつむけいけん 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】					
1 個人や集団、社会の単位で人間を理解する視点を養い、生活と社会の関係を体系的にとらえる学習とする。					
2 人々の生活の場である地域という観点から、地域共生社会や地域包括ケアの基礎的な知識を習得する学習とする。					
3 日本の社会保障の基本的な考え方、しくみについて理解する学習とする。					
【授業の到達目標】					
1 個人・家族・地域・社会のしくみと、地域における生活の構造を学ぶことで、生活と社会の関りや自助・互助・共助・公助の展開を理解する。					
2 地域共生社会や地域包括ケアシステムの基本的な考え方を理解する。さらに、その実現のための制度・施策を理解する。					
3 社会保障制度の基本的な考え方としくみを理解し、社会保障の現状と課題をとらえることができる。					
【授業の内容】					
1	オリエンテーション 人間と社会のとらえ方				
2	生活の基本機能とライフスタイルの変化について				
3	家族の機能と役割と構造や形態の変化及び社会・組織の機能と役割について				
4	地域・地域社会、地域社会における生活支援ついて				
5	地域福祉の発展				
6	地域共生社会と地域包括ケアシステムについて				
7	チェックテスト(第1章～第2章)				
8	社会保障の基本的な考え方				
9	日本の社会保障制度の発達				
10	日本の社会保障のしくみ① 社会保険方式・年金保険				
11	日本の社会保障のしくみ② 年金保険・医療保険				
12	日本の社会保障のしくみ③ 雇用保険・労災保険・各種社会扶助について				
13	現代社会と社会保障制度				
14	チェックテスト(第3章)				
15	確認テスト(第1章～第3章)・GW(社会保障の意義と機能・少子高齢化と持続可能な社会保障のあり方)				
【成績 評価の方法と基準】					
講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。					
評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『社会の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第2巻> 中央法規出版					
【参考書】					
【備 考】					

シラバス

れいわ ねんど
令和8年度ちせんふくしせいかせんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん 2年(後期)	人間と社会	必修	1単位30時間	授業 形態(講義)
科目名	社会の理解Ⅲ	担当	安達 智一		
			介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】					
介護に関する近年の社会保障制度の大きな変革である障害者総合支援制度について、介護実践に必要な観点から基礎的知識を習得する。					
【授業の到達目標】					
1. 障がい者福祉の動向について理解する。					
2. 障がい者福祉に関する法体系について理解する。					
3. 障がい者総合支援制度の仕組みについて理解する。					
【授業の内容】					
1	障がいについて考える(障がいとは？ 障がい者の定義について)・障害者総合支援制度創設の背景及び目的				
2	障害者総合支援制度の仕組み①制度の概要				
3	障害者総合支援制度の仕組み②障害福祉サービス(介護給付)				
4	障害者総合支援制度の仕組み③障害福祉サービス(訓練等給付)				
5	障害者総合支援制度の仕組み④障害福祉サービス(地域生活支援事業)				
6	障害者総合支援制度の仕組み⑤児童に関する制度				
7	チェックテスト①第5章 障害者福祉に関するまとめ				
8	人々の権利を擁護する諸制度①成年後見制度と日常生活自立支援事業				
9	人々の権利を擁護する諸制度②虐待防止法と身体拘束ゼロに向けて				
10	人々の権利を擁護する諸制度③消費者保護に関する制度・施策及び個人情報保護				
11	保健医療福祉に関する制度・施策①健康日本21、医師法、医療法、地域保健法				
12	保健医療福祉に関する制度・施策②感染症法				
13	生活を支える諸制度：生活保護法、福祉資金、生活困窮者自立支援制度				
14	チェックテスト②第6章				
15	確認テスト(定期試験範囲まとめ)				
【成績評価の方法と基準】					
講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。					
評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『社会の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第2巻> 中央法規出版					
【参考書】					
『福祉小六法』 中央法規出版					
【備考】					

シラバス

令和8年度

ちせんふくしせいかせんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん ぜんき 1年(前期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 3単位90時間	じゅぎょうけいたいえんしゅう 授業形態(演習)
かもく めい 科目名	せいかつしえん ぎじゅつ 生活支援技術ⅡーⅡ	たん とう 担 当	あだち ともかず 安達 智一		
			かいご ふくしし じつむ けいけん 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】					
かれい しょうがい にちじょうせいかつ けいぞく こんなん かた たい そんげん ほじ じりつ しえん せいかつ ゆた かんてん ほんにんしゅたい せいかつ け 加齢や障害により日常生活の継続が困難な方に対して、尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継 続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を取得する。					
【授業の到達目標】					
1. じりつ じりつ そんちよう しえん あ かた りかい 自立(自律)を尊重した支援の在り方について理解する					
2. ざんぞんのうりよく かつよう せんざいのうりよく ひ だ てきせつ かいご ぎじゅつ ちしき しゅうとく 残存能力を活用した(潜在能力を引き出す)適切な介護技術と知識を習得する					
3. りようしゃ かいごしゃ りようほう あんぜん かいご ぎじゅつ ちしき しゅうとく 利用者、介護者両方にとって安全な介護技術と知識を習得する。					
【授業の内容】					
1	じりつ いどう 自立した移動とは	いどう いちれん どうさ 移動の一連の動作			
2	じりつ む いどう いじょう いどうどうさ き そ りろん 自立に向けた移動・移乗 移動動作の基礎となる理論(ボディメカニクス)				
3	いどう いじょう かいじょ 移動・移乗の介助における基本的な視点				
4	たいい へんかん かいじょ じょうほういどう すいへい 体位変換の介助① 上方移動・水平移動				
5	たいい へんかん かいじょ ぎょうがい そくがい たいめんほう はいめんほう 体位変換の介助② 仰臥位から側臥位(対面法・背面法)				
6	みじたく かいじょ じょう ちゃくだつかいじょ 身支度の介助①(ベッド上での着脱介助)				
7	みじたく かいじょ じょう ちゃくだつかいじょ 身支度の介助②(ベッド上での着脱介助)				
8	たいい へんかん かいじょ そくがい たんざい ざいほじ かのう りようしゃ 体位変換の介助③ 側臥位から端座位(座位保持が可能な利用者)				
9	たいい へんかん かいじょ そくがい たんざい ざいほじ ふあんてい りようしゃ 体位変換の介助④ 側臥位から端座位(座位保持が不安定な利用者)				
10	たいい へんかん かいじょ たんざい りつてい かいじょ 体位変換の介助⑤ 端座位から立位への介助				
11	みじたく かいじょ ざいしせい ちゃくだつかいじょ 身支度の介助①(座位姿勢での着脱介助)				
12	みじたく かいじょ ざいしせい ちゃくだつかいじょ 身支度の介助②(座位姿勢での着脱介助)				
13	みじたく かいじょ じょう こうく 身支度の介助③(ベッド上での口腔ケア①)				
14	みじたく かいじょ じょう こうく 身支度の介助④(ベッド上での口腔ケア②)				
15	ぜんき ふ かい 前期振り返り				
【成績評価の方法と基準】					
こうぎ とりくみ(しゅつせき・じゅこうたいど・ていしゅつぶつなど) ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん てんいじょう こうかく 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とす る。 ひょうてい ひょうかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『せいかつしえんぎじゅつ さいしん かいごふくししやうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 生活支援技術Ⅰ』 <最新・介護福祉士養成講座 第6巻> 中央法規出版 『せいかつしえんぎじゅつ さいしん かいご ふくしし やうせいこうざ だい かん ちゅうおう ほうき しゅつばん 生活 支援技術Ⅱ』 <最新・介護福祉士養成講座 第7巻> 中央法規出版					
【参考書】					
【備 考】					

シラバス

令和8年度

ちせんふくしせいかせんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報		ねん こうき 1年(後期)	かいご 介護	ひつしゅう 必修	たんい じかん 3単位90時間	じゅぎょう けいたしえんしゅう 授業形態(演習)
かもく めい 科目名	せいかつしえん ぎじゅつ 生活支援技術Ⅱ－Ⅱ	たん とう 担 当	あだち ともかず 安達 智一			
			かいご ふくしし じつむ けいけん 介護福祉士としての実務経験			
【授業の概要】						
かれい しょうがい にちじょうせいかつ けいぞく こんなん かた たい そんげん ほじ じりつ しえん せいかつ ゆた かんてん ほんにんしゅたい せいかつ け 加齢や障害により日常生活の継続が困難な方に対して、尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継 続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を取得する。						
【授業の到達目標】						
1. じりつ じりつ そんちよう しえん あ かた りかい 自立(自律)を尊重した支援の在り方について理解する						
ざんぞんのうりよく かつよう せんざいの うりよく ひ だ てきせつ かいご ぎじゅつ ちしき しゅうとく 2. 残存能力を活用した(潜在能力を引き出す)適切な介護技術と知識を習得する						
りようしや かいごしや りようほう あんぜん かいご ぎじゅつ ちしき しゅうとく 3. 利用者、介護者両方にとって安全な介護技術と知識を習得する。						
【授業の内容】						
16	じつぎ しけん 実技試験について(前期振り返り)	31	みじたく かいじょ じょう ちゃくだつかいじょ 身支度の介助(ベッド上での着脱介助)			
17	じつぎ しけん れんしゅう ちゃくだつかいじょ 実技試験練習① 着脱介助	32	みじたく かいじょ ざ い ちゃくだつかいじょ 身支度の介助(座位での着脱介助)			
18	じつぎ しけん れんしゅう ちゃくだつかいじょ 実技試験練習② 着脱介助	33	みじたく かいじょ じょう ちゃくだつかいじょ わしきねまき 身支度の介助(ベッド上での着脱介助:和式寝間着)			
19	じつぎ しけん れんしゅう はいせつかいじょ 実技試験練習③ 排泄介助	34	ふくしやうぐ かつよう いじようかいじょ 福祉用具を活用した移乗介助①(スライディングボード)			
20	じつぎ しけん れんしゅう はいせつかいじょ 実技試験練習④ 排泄介助	35	ふくしやうぐ かつよう いじようかいじょ 福祉用具を活用した移乗介助②(リフト)			
21	じつぎ しけん れんしゅう たいいへんかん 実技試験練習⑤ 体位変換	36	いじよう かいじょ くるま くるま いじよう 移乗の介助(ベッドから車イス・車イスからベッドへの移乗)			
22	じつぎ しけん れんしゅう たいいへんかん 実技試験練習⑥ 体位変換	37	くるま いどう かいじょ だんさご さかみち 車イスでの移動介助① 段差越え・坂道			
23	じつぎ しけん れんしゅう いじようかいじょ 実技試験練習⑦ 移乗介助	38	くるま いどう かいじょ ふせいち 車イスでの移動介助② 不整地			
24	じつぎ しけん れんしゅう いじようかいじょ 実技試験練習⑧ 移乗介助	39	ほこうかいじょ つえほこう どうき ほこう どうきほこう 歩行介助 杖歩行(3動作歩行・2動作歩行) かいだん の ほ お 階段の上り下り			
25	じつぎ しけん れんしゅう いどう かいじょ 実技試験練習⑨ 移動介助	40	にゅうよくじ いどうかいじょ いじよう いどう 入浴時の移動介助(ストレッチャーへの移乗・移動)			
26	じつぎ しけん 実技試験	41	はいせつじ いどう かいじょ 排泄時の移動の介助 くるま (車イスからトイレ・ベッドからポータブルトイレ)			
27	かいご げんば かいご ぎじゅつ① 介護現場の介護技術①	42	みじたく かいじょ せんがん かいじょ せいはつ かいじょ 身支度の介助(洗顔の介助・整髪 of 介助)			
28	かいご げんば かいご ぎじゅつ② 介護現場の介護技術②	43	みじたく かいじょ ひげそ かいじょ つめき かいじょ 身支度の介助(髭剃りの介助・爪切りの介助)			
29	かいご げんば かいご ぎじゅつ③ 介護現場の介護技術③	44	みじたく かいじょ きしつてき こうくう きのうてき こうくう 身支度の介助(器質的口腔ケア・機能的口腔ケア)			
30	かいご げんば かいご ぎじゅつ④ 介護現場の介護技術④	45	まとめ			
【成績評価の方法と基準】						
こうぎ とりくみ(しゅつせき・じゅこうたいど・ていしゅつぶつなど) ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん てんいじよう ごうかく 講義への取組(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 ひょうてい ひょうかてん てんいじよう てんいじよう てんみまん てんいじよう てんみまん てんみまん 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D						
【テキスト】						
『せいかつしえんぎじゅつ さいしん かいごふくししやうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『生活支援技術Ⅰ』 <最新・介護福祉士養成講座 第6巻> 中央法規出版 せいかつしえんぎじゅつ さいしん かいご ふくしし やうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうき しゅつばん 『生活支援技術Ⅱ』 <最新・介護福祉士養成講座 第7巻> 中央法規出版						
【参考書】						
【備 考】						